新京日日新聞
夕刊
四月十三日（金）
發行所 新京日日新聞社

満洲國頭腦トラスト 企畫局設置案
鄭、熙兩特使の渡日で具体化

満洲國の政治經濟の建設に關するブレーン、トラストたる企畫局新設案は最近愈よ各方面から

『重視』され鄭熙兩特使の歸國と相俟つて急天直下的にその實現を見るのではないかとさへ一部に於て觀測されるに至つたが、抑々本企畫局新設案が當局一部の俎上に上つたのは昨秋以來のことで今日まで幾度か意見の交換が首腦部間に行はれ、既に實行可能な成案を得てゐるもので今回問題が具体化して來たのは鄭熙兩特使の東京に於ける齋藤首相はじめ高橋藏相、永井拓相、廣田外相等との日滿經濟提携に關する重要なる意見交換の結果、從來提唱されて來た日滿經濟ブロックの強化に更に一段の歩を進め愈よ滿洲國の經濟工作に實際着手する段取りとなり、滿洲國側にも政治經濟參謀本部の設置を必要とする結論に到達したためである而して該企畫局の新設は日滿經濟ブロックの強化實現を期するための滿洲國側の

『機關』であるとは謂へ、本質的には自主的立場に於ける政治經濟に關する國策樹立機關たることをその眞面目とするものである、從つて該企畫局の基本的重點は

一、農業國家としてその自主的經濟國策の樹立
二、政治の科學的實際化

の二點に存してゐる、即ち今日まで滿洲の産業開發に關する特務部の活動は主として國防資材の統制的開發に重點を置いて進んで來たが、企畫局新設案の意圖は寧ろ國家構成分子の主体たる農村大衆の福祉增進に力點をおき先づ土地制度を確立することと、農村の協同組合化を圖ること水利事業を勃興せしめること等によつて滿洲農業社會の半封建制を克服して全滿農村の更生を圖り、更に農村の漸進的工業化、即ち特産及畜産をもととする農村化學工業の勃興を

『促進』し以て農村工業を通じての日滿ブロックの結成を期せんとするものである

滿洲國郵便物
支障なく各國に配達さる 獨り支那のみ拒否

滿洲國郵便物を列國に於て如何に取扱つてゐるかは通郵問題の喧しき折柄興味あることろであるが、最近世界各國駐在の日本外交機關に於て駐在地での實状を調査した結果によれば、最近では英、伊、白、メキシコ、南阿等の諸國に於ても何等の支障なく配達せられ、ただ支那が未だに頑迷なる態度を持續してゐる

山東よりの入滿者激增
韓復渠の徴兵制實施に

〔奉天國通〕最近山東より職を求めて來奉せる一勞働者の語る處によれば、山東省主席韓復渠氏は自己の勢力の充實を圖るべく特國民政府に請願して本年中に徴兵制度を實施することになつたが總て兵役の資格を有するものは全部入營せしめ十ヶ月の軍事教育をなし除隊後は在郷軍人となり一旦有事の際は皆軍人とならなければならないので死ぬか生きるかの苦しい境遇にある下級勞働者は若し徴兵されゝば一家は餓死せねばならぬ運命に陥るので彼等はこの制度を非常に怖れこれを免かれんとする一方軍閥の搾取的暴政より逃れ生命の糧を求めて已むを得ず入滿するものが最近非常に多くなつて來たと

一、二兩月の 天津棉花輸出狀況

〔天津國通〕昨年の不況の餘波を承けて天津の棉花輸出は一月に於て五千三百包二月に於て五千七百六十包、計一萬一千六十包で此の二ケ月は一年中の最閑散期であるが昨年の一、二兩月合計一萬で居る八千包よりも更に不振を示し一月中の價格は最高四十元八角となつて居る、因に此の不振は米棉の高騰に伴ひ天津棉も高騰し買主手控へ滯貨二千餘包に上り更に印棉第一回輸入の影響を受け愈々不振となつたものである

日滿經濟ブロック 結成基礎資料（四）
米穀資源について（下）

最近の情勢

一、昭和八年二月關東軍特務部內に軍參謀部、特務部、大使館、總領事館、拓務省朝鮮總督府、關東廳代表者を以て移民部を編成し以て滿洲に於ける日本移民事業の統制及指導斡旋に當らしむることとせり

二、今後十五ケ年間に特別移民一萬戸、普通移民十萬戸合計五十萬人位を移住せしめて自作農たらしむる方針なり

三、邦人の移住を助成するため滿洲移住協會を設立し移住者の募集訓練及渡航の斡旋並住地に於ける各種施設の援助、移住地事情の調査紹介其他必要なる事業を行はしむ

四、拓務省の實施に係る第一次特別移民は昭和八年三月永豐鎭に入植を完了し第二次移民も同年七月七虎力に入植せり

五、其他哈爾賓近郊、京圖、拉賓沿線にそれぞれ日本農村の建設計畫中、更に間島諸團體の計畫も進捗中なり

滿洲國としての利點及缺點

利用すべき諸點

一、滿洲國從來の農作上濕地は不毛の地と見られ居たるも水田の開拓により土地の利用を擴大し滿洲國の生産を增すこと至大なり

二、滿洲農作上新たに米作を增加することは滿洲農民の生活及經濟上に利益あり

三、滿洲國人口は年々增加し三十ケ年後に二倍となるべきは各省の人口增加率に照らして明瞭なり、而してその內本邦よりの移住增加率多きは否定すべからざる所なれば之等移住者の主食料として適度の米作は最も緊要なり

四、滿洲人も米食の嗜好漸次增加しつゝあれば之れが對策としても適度の米作は必要なり

五、現在滿洲國にては外米三十六萬七千擔支那米十萬八千擔內外の輸入あり將來益々輸入增加せんとする傾向なれば之に代るべく主として臺鮮米の輸入及自國産米の增加は緊要なり

留意すべき諸點

一、滿洲の米作は先づ水利開發の基礎工事を必要とするものなるがこれには相當巨額の費用を要する不利あり

二、土着の滿洲國人及山東より移住の滿洲國人は水田耕作を喜ばざる習慣的不便あり

三、滿洲國本位とするときは米作に過大の期待を置かず寧ろ北滿地方に於ては小麥南滿地方に於て棉花、果樹其他風土に適したるものを栽培するを得策とす

滿洲に於ける米作經營又は開發に關する參考

一、滿洲に於ては水田面積百萬町歩、籾三千萬石程度の收穫を得ること比較的困難ならずと主張する者あるも道は將來農民（鮮民を含む）の進出及米作の順調なるを條件とするものなり、然るに若し從來の如く成績可良ならざるか又は上欄に記すが如き短所のため收支相償はざるに至らば滿洲米の增産は困難なるべし

二、斯かる場合朝鮮に輸出せらるゝ滿洲粟の代替物として臺鮮米の輸入を獎勵し或は內地過剩米を輸出するが如き方策を採らば本邦農業振興上にも寄與するところ尠からざるべし

三、水利の便を缺く地方に於ては陸稻栽培を有利とす

四、瓦房店附近が水質、氣溫共に日本酒醸造地として絶好の適地なることは既に滿鐵、關東廳方面の調査により明かなり

鎮平銀の 存續運動起る

〔安東國通〕東邊道に永き歴史を有する鎮平銀も國幣統一の犠牲となつて來る七月一日から通用性を失ふこととなつたが、鎮平銀は他の私帖と異り其歴史が古い關係上廢止に際しての影響は極めて重大なので、中央政府にこれが存續運動を起すべく瀨之口商工會議所會頭及採總商會長は相携へて十日午後新京に向つた

資金難の中國建設銀公司 米佛に投資を求めるか

〔上海十二日發國通〕既報孔祥熙氏、宋子文氏等の發案にかゝる中國銀公司は米國建設金融會社の例にならひ、中國建設銀公司と改稱、國內建設事業に對する資會の誘致を目指し着々準備進行中であるが國內不安の折柄國內資金の誘致極めて困難なるに鑑み、同公司關係者は九日來朝せる米國銀問題調查委員ロチャース教授、米國財務省極東通ディクソン、レーヴン氏等を通じ米國資本の獲得に努力する一方、最近佛領印度支那より訪日の途寄滬した佛國財界の有力者ロスチーイルド氏に巨額の投資を求めたと傳へられる

嫩江公道橋 起工式 十六日擧行

國道局の計畫たる嫩江大公道鐵橋の起工式は十六日午前十時半チチハル西南約八キロの現場に於て國道局中村チチハル建設事務處長及び各關係者並に畑○團長以下日滿各要人參列の下に擧行される、因にお公道橋は總豫算百五十萬圓橋長八百九十米、有效幅員七米、橋面高最大洪水位上九米使用鋼材二千六百噸で近代技術の粹を集めたもので世界の一等橋に遜色無き強度を有ち名實共に滿洲國第一を誇るべき大公道鐵橋で明年六月末竣工の豫定である

閉館中の ペトロパウロフスク領事館開く

〔東京國通〕外務省では北洋漁業出漁期を控へ漁業事務取扱ひのため閉館中のペトロパウロフスク領事館を開館し左の如く役員を命じた

外務省條約局第二課事務官 齋藤輝字長 任領事（ペトロパウロフスク在勤を命ず）

在ソヴィエート大使館二等通譯官 油岡重遠 任副領事（ペトロパウロフスク在勤を命ず）

淺町良三氏渡歐

〔東京國通〕國際勞働會議資本家代表淺野良三氏は十二日横濱出帆の秩父丸で渡歐した

日滿悲曲 生命線を行く（百四十一）

國友雄吉 作（荒川芳三郎 畫）

ほてる顔

伸一は考へた。

その揚句、あれから二日目の晩、彼は、再び金水へ出かけた。『今夜は、遲くなるといけない』と思つたので、日暮前に家を出た。金水へ來た頃、河岸には夕月がかゝつて、蝙蝠が飛んでゐた。

ちやうど、前の晩の女中が居てそれが何もかも心得て、萬事ソツの無いやうに、運んで呉れたお蔭できまりの惡い思ひもせず、間も無く勝代が、いそいそと現れた。

だが彼女は、茂彦も一緒のつもりで來てみると、伸一ひとりだつたので、ちよつと、がつかりした。

『なぜ、坊ちやんを連れて來てくださらないの。あんなに固い約束をしてくだすつたくせに――』と怨めしさうである。

『それがね――連れて來やうと思つたけれど、うつかり子供なんか連れて來れない理由があるんだ』

『マア、どうして――？どういふ理由があるの――？』

『一昨日の晩のことが、昨日の朝もう母に知れてしまつたのさ』

『え――あなたが、此處へいらしたことが――？』

『あゝ』

『マア、惡かつたわねえ。あたしどうすれば宜いでせう。みんな、あたしが惡いんだわ。あなたをこんな料理屋なんかへお連れして――』

『なあに、宜いんだよ――そんなことは、ちつとも構はないけれど、どうして知れたか、それが、不思議でならないんだ――それが、只料理屋へ來たといふだけの單純のことでなくつて――君のことまで――』

一昨日の晩、伸一は、勝代を呼ぶに『あんた』と云つてゐた。それが、今夜は、『君』と呼ぶやうになつた、一歩々々さうして彼は親しんで行くのだつた。勝代にもその氣持は通じてゐた。彼女は嬉しかつた。自分からもそつと打解けて行きたい氣がした。

しかし、今の彼女は、なかなかそれどころでは無かつた。

『えツ？ あたしのこと――あたしがどうかしたと云ふのでせうか――？』

開き直つて訊かれてみると伸一は、いさゝか、躊躇せずに居られなかつた。

しかし、初めから、何もかも打明けて言つてしまふつもりの今夜なのである。彼は勇氣を出した。

『君は――僕の戀人なのだとさ』

『……』

それは、空虚な笑ひであつた。

『――滿洲以來の愛人で、その君が、僕の跡を慕つて、はるばる東京へ來たんだつて――出鱈目も、度まで間違つて來ると、腹の立つところを通り越して、むしろ、馬鹿々々しくなるぢやないか――』

伸一は、さすがに、勝代の方をまともに見ることが出來なかつた。

いつか彼は、伏目勝になつて居た。勝代は、只わけも無く、胸がワクワクして、顔が熱くほてつて來た。

『でも、隨分だわねえ、そんな途方も無い疑ひをかけられて、あたし、ほんとうに、あなたに濟まないと思ふわ』

『イヤ、そんなことは無いよ、反つて、僕の方が、君に濟まないんだ』

二人の視線が、期せずしてピタリと出遇つた。そして二人は、あわてゝ顔を逸らした。

『でも、可怪いわねえ、そんなこと誰が言つたでせう――？』

『僕にも、てんで、それが分らないんだ。いくら考へても、只不思議に思ふばかりでねえ』

いつか勝代は、默つて俯向き込んでしまつてゐた。彼女も、いろいろあれか、これかと考へてゐるのだつた。

そして、考へはどうしても、昨日の晩のことに落ちて行くより外はなかつた。

『あなたのお友達のうちに、もし嘉村さんといふ方は、いらつしやらない――？』

彼女の頭に、ふと、那須のことが浮んで來た。

『えツ！ 嘉村――』と、伸一は思はず眼を輝かした。

停頓の北鐵交渉 十四日再開されん

廣田外相の午餐會を機とし 愈よ商議に入る

〔東京國通〕廣田外相は停頓中の北鐵讓渡交渉を『圓滿』に解決して日ソ間の友交關係を回復する爲め、滿ソ間に積極的斡旋を試る事となり、滿洲國側を激勵して滿洲國側より提出すべき北鐵讓渡案を作成せしめつつあるが廣田外相としては右案が間に合へば十四日正午外相官邸に行はれる午餐會に提示せしめ、同午餐會を其の儘交渉再開の第一回會商としたいとの意向である、同案提示の曉にはソ聯側に誠意ある限り讓渡交渉は急速に解決に向ふ可能性あると期待される、尚出席者は日本側廣田外相、重光次官、天羽情報部長、東郷歐米局長、西田第一課長、滿洲國側丁士源公使、大橋次長、烏澤聲、杉原事務官、ソ聯側ユレニエフ大使等であるが滿洲國の提案が廣田外相の期待通り『進捗』せば昨年六月廿六日交渉開始の第一回會議にも比すべき歴史的會合となる譯である

國際文化振興會生る

〔東京國通〕現下の如く複雜化した國際關係に於ては政治的經濟的交渉の外に國民相互の文化的交驩が重大使命を持つてゐるので日本文化の海外紹介並に國際間の文化的交驩の機關を設立すべしとの議が起り、近衛文麿公、岡部長景子其他有志が準備委員となり國際文化振興會の設立に奔走して來つたが、財政的基礎も固り、愈よ來る十九日午後二時より東京會館に第一回評議員會を開き本年度事業豫算を附議決定して具体的事業に着手する事となつた、事業內容は日本文化に關する著作の外國語に翻譯刊行、外國主要大學に日本文化並に日本語の講座設置、講師の交換、知名外國人の招請學生の派遣交換外國人の東洋文化研究に對する便宜供與映畫製作等凡ゆる文化部內に亘つて頗る廣汎であるが時節柄各方面から支持後援があり會長近衛公を始め理事者も頗る熱心なのでその成果は非常に期待されて居る

三長老閣僚會議で善後策を協議

あくまで留任を懇望するが 辭表却下奏請はせぬ

〔東京國通〕齋藤首相は林陸相に對しては出來得る限りの手を盡す決意をなし十一日夜十二日朝の二回に亘つて慰留を懇請したるも遂に翻意せざるため十二日午前三長老閣僚會議を開き齋藤首相より慰留經過の報告をなし、これが對策を協議の結果

一、陸相の辭意は堅固なるものあるも陸相の陸軍部內における信望極めて厚く軍の統制上よりも同氏の留任を懇望する

一、然し政府としては今回の事情から考慮して小山法相の時の如き辭表却下奏請は差控へ軍部の意見の一致を待つこと

一、陸軍の意見は目下參謀總長宮殿下が御旅行中であるため御歸京あらせられた後決定するものと考へられるから此の陸軍三長官の意見一致を待つて善處すること

一、參謀總長宮殿下が御歸京あらせられた後に陸軍が林陸相の辭任を認め後任を推薦せる場合はそれによつて善處する

一、右の如き事情にあるため參謀總長宮殿下の御歸京後陸軍の意思の決定するまで一切の手續を差控へる

といふ意見の一致を見て殆ど陸軍全體が陸相の留任を懇請してゐるにも拘らず辭意極めて固きものあるが、陸相は參謀總長宮殿下の御信任厚きため殿下の御歸京後の御意見に基き決定するべき陸軍の一致した意見によつて善處する外なしと云ふことに決意し留任せざる場合の後任陸相詮衡準備工作に就ても愼重考慮を拂つてゐる模樣である

齋藤首相 陸相慰留に努む

〔東京國通〕齋藤首相は西園寺公の激勵により、政策的更生を圖り難局打開に邁進すべく專任文相補助失敗にもめげず三大政策實現を『聲明』して人心の一新を圖らんとしてゐる然るに今回林陸相が突如として辭表を提出したので更生途上にある、齋藤內閣は一大衝動を受け、出來得る限り慰留に努力してゐるが、林陸相の辭意堅く翻意は相當困難なるものの如く、首相としては閑院參謀總長宮殿下御歸京後の御意見によりて陸相の翻意必ずしも望難にあらずと一縷の望をつないで例えスローモーションによつて陸相の慰留に意を盡し、それでも翻意せざる場合は陸軍部內の意見の一致するのを俟つてこれが善後處置を講じ政界の安定を圖る可く靜かに陸軍部內同僚の動靜を注視しつつある、然し此の陸相問題解決は參謀總長宮殿下御歸京後となる故數日中は現狀のままであるより他なきのみならず陸相辭任は綱紀問題に對する政府への警告的意味も含まれてゐるとも考へられてゐるため、解決までには相當な曲折があるものと豫想され、首相の內閣更生の意圖に反して文相補充第一次工作の失敗、陸相の辭任問題の如きは內閣の末期的現象を發揮したものと言ふ可く假令文相陸相問題等が『解決』するとしても現內閣の前途は決して樂觀を許さないものがあるとして政局は不安の度が高められてゐる

閑院總長宮殿下 十四日御歸京

〔東京國通〕閑院參謀總長宮殿下には十四日午後九時十分東京驛御着御歸京遊ばされることとなつたので陸軍では場合に依つては植田參謀次長を使者として途中まで御出迎へ申上げ林陸相の辭表提出並に陸軍部內における辭表提出の善後意見を御報告申上ぐることとなるかも知れない

後任陸相或は寺內第四師團長か

〔東京國通〕林陸相は飽くまでも翻意せず林陸相の後任問題に就ては眞崎教育總監、荒木大將、植田參謀次長、柳川次官等との『間に』內證衡が重ねられて居るが部內各方面には意外に複雜なる事情が潛在して居るため容易に意見の一致を見ず、後任陸相に就ては適任者難に陷り眞崎教育總監が第一に候補に擧げられて居るが同大將は生活上から表面に立つことは希望せず且つ同大將の陸相就任に對しては各方面に有力なる反對もあり又南、荒木、阿部各大將を推す事も部內の情勢は種々事情があるため寧ろ植田參謀次長若しくは寺內四師團長の就任することが最も見られて居る有樣である、かかる狀態から最後の決定は陸軍の最元老に當らせられる參謀長の『重職』にあらせられる閑院元帥殿下の御內意承はる迄は決定困難であると觀られて居る

文相の後任 送らぬに決定

政友幹事會の決定

〔東京國通〕政友會では正午三緣亭に幹事會を開催し政局につき意見の交換を行つたが「この際黨出身閣僚、政務官を全部引揚げて政府との關係を淸算せよ」との强硬論擡頭したが、意見一致せず、尚文相の後任交渉があつた場合更めて閣僚を送ることは止めやうとの申合せをなし、右を鈴木總裁と若宮幹事長に進言することとし午後二時散會した

視察して歸つた某國外交官

ウラジオ方面の狀況を語る

〔ハルビン國通〕當地駐在の某國外交官はウラジオ方面の視察を了へて此程歸哈したが最近のウラジオ方面の情況に就き大要左の如く語つた

一、ウラジオ港には米國商船二隻が小麥粉、セメント等を滿載して入港して居た

一、ソ聯は極東の軍備を完了して居るが開戰の意志なし

一、日本としてはソ聯と戰爭を開始するより北鐵を買收した方が安價であるとウラジオ市民は語つて居る

一、ウラジオは七萬の人口から最近十七萬に增加した

一、農民は村落を捨てて食物を得るため都會に集まり市內は大混亂を呈して居る

一、官憲はゲ、ペ、ウの監視壓迫が嚴重なるため外人に接近せず

一、强制勞働者はソ滿國境から百五十キロの地點で勞働して居り都會地にはその影を認めず

總長宮御歸京を待ち

三長官會議で陸軍の態度決定

〔東京國通〕閑院參謀總長宮殿下には四國の御旅行から十六日午後御歸京の御豫定であつたが林陸相辭表提出の重大事件が突發したため御豫定を繰上げさせられ、十四日午後九時廿五分東京驛着「ツバメ號」にて御歸京遊ばされることになつた旨御附武官から十二日午後通告があつたので、陸軍では同夜又は十五日午前閑院參謀總長宮殿下を始め奉り林陸相、眞崎教育總監の三長官會議を開催し辭表提出に伴ふ善後處置に就いて重大協議を行ひ陸軍の態度を決定し政府に通告することになつたが、當日の會議の結果如何は直ちに政局にも重大なる影響を齎らすため成行きは注目されてゐる

全閣僚擧つて 引留めん

〔東京國通〕十三日閣議に林陸相が出席するかに就ては政府は陸相の辭表は未だ執奏されてゐぬ以上、出席するは當然と見て居り、出席した際高橋藏相が曩に辭意を表明した時全閣僚が擧つて引留めた前例に倣ひ林陸相に對し閣議席上非公式に全閣僚が擧つて慰留に努めると見られてゐる

遞信局異動

〔大連國通〕

任關東廳屬 遞信書記 開原局長 上野幸一

兼任關東廳遞信副事務官 敍高等官六等 開原郵便局臨時在勤を命ず 遞信書記 大連局通常郵便課長 小西輝雄

補開原郵便局長 遞信書記 新旅順局長 鷲谷潔

大連中央郵便局通常郵便課長を命ず 遞信書記 蘇家屯局長 三坂善四郎

補新旅順郵便局長 新旅順郵便局關東廳構內出張所長兼務を命ず 遞信書記 新京局郵便課長 伊藤臺

補蘇家屯郵便局長 遞信書記 新京局主事 本田菊次

新京郵便局郵便課長心得を命ず 遞信書記 營口局長 東島喜代太

新京郵便局在勤を命ず 遞信書記 奉天局主事 島地久市

(以上四月十一日附)

關東廳屬 兼遞信副事務官 上野幸一

依願免本官

(四月十二日附)

附屬地行政移管と 林總裁の意嚮

一に財源捻出が問題

〔大連國通〕既報東京電の如く滿鐵の教育行政移管は主務省たる拓務省が原則的に移管の意向を『決定』し永井拓相以下熱心にこれが實行方策につき研究を續けて居り滿鐵側としても林總裁は體よく上關東廳の存する限り已むを得ないものとしてゐるので結局之が實行の能不能は之が技術的方面卽ち財源捻出の移管が最大なる鍵でその方策としては

一、關東廳方面の主張する如く滿鐵株の政府配當を一般株と同率にしてその增額を充てるか

一、何等かの名目便法でこれに代るべき財源を滿鐵から上納せしむるか

一、國庫から財源を得るか

等が考へられる、然し乍ら現下の情勢では殆んど不可能事と見る向が多いが情勢の變化如何では案外容易に實現出來るやも計られず、その時に當りては教育行政のみに止まらず續いて地方行政移管問題も滿洲國への返還の第一段として官廳側の議にのぼるべく右教育行政移管の成否は時局地方行政の全部的官廳移管の歸趨を決するものとして今後の成行は注目に値する、自分『個人』の意見としても體制上關東廳が現存して居るのだから已むを得ない事だと思つてゐるが、此の際直ちに實行可能とは思はない、財源の點で何うかと思ふ

くして居ると辭することも出來るし、その理由の據る處は判らない、拓務大臣は移管を强調して居たが、總理からは何も聞かない、滿洲の經濟界は滿鐵が背負つて立つべきだとして居るが滿洲帝國が嚴存する以上この『程度』までこの趣旨で行くべきか何うか問題だ、全滿鐵道の統制問題は未だ社の重役會議にも出された事はない、村上理事の上京用向きにもない持株會社の解放は樂觀すべきで現在でも二三會社には確かに買手筋がある特に一係を設けて調査中だから出來上つたら一應拓務省へ出し一方東京方面株式市場との打合せをなして後實行に着手する段取となる、改組問題に就ては東京では何の話も聞かないし折衝もしなかつた、陸相にも會つたが話はなかつた、社內職改も未だ考へてはゐない、滿鐵の現狀に就ては大阪商界方面並に財界方面の受けは頗る良い、シンジケート銀行團との折衝も數回行つたが『融資』の前途は明るくなつたと言へよければ樂觀してよい、金利も低下の見透しだ三理事滿期に伴ふ後任人選か、それは七月の事ぢやないか、今は何も考へてゐないがスローモーションでやらう、林陸相が辭表を提出したのか、これで內閣が致命傷を受けるとは思はない、現內閣は永續內閣だ

印度政廳 日本綿製品輸入 統制方針を決定

(デリー十二日發國通)印度政廳は十二日日本綿製品の輸入統制方法として左の如き結制策を採ることに方針を決定し直に其旨官報號外を以て發表した

印度向日本綿製品にして九割以上の綿糸を含有するものは日本商工省若しくはこれに代る機關の發行した輸出許可證を有せざる限り一切これが輸入を禁止する方針である

新疆宣撫使 黃紹雄赴任

新疆省の形勢惡化に狼狽せる支那政府は曩に黃紹雄を新疆宣撫使に任命派遣することになつたが、黃紹雄は目下步兵五團、砲兵一團、騎兵、工兵機關銃隊各一隊を率ゐ山西より包頭、寧夏を經て赴任の途にありと

蘇州、杭州租界返還要求 我外務應ぜざる意向

〔東京國通〕國民政府が蘇州と杭州の日本租界の返還の要求をなすとの事に外省では左の見解である

全然なく詳細不明であるが提案來るとも日支間の基本問題が解決されねば應ぜられぬ、一方的意思で租界回收の要求をなすとも回答は出來ぬ

鐵路總局に スポーツ會生る

〔奉天國通〕鐵路總局では心身の鍛練は先づスポーツからのモットーの下に今回總友會なるものを組織した會長には宇佐美總局長を推し副會長に伊澤次長、各處長を相談役とし、その組織は軟式野球、排球、陸上競技、籠球、射擊、蹴球、卓球十部から成り一シーズン三千圓の豫算をかけて大々的に局員にスポーツを奬勵しようと言ふのである

錦華紡績社長 召喚さる

〔廣島國通〕錦華紡績人絹社長佐藤曆治郎氏は午前七時二十三分檢事局に召喚された、事件內容は廣島工場設置に關し廣島市長に一萬圓謝禮せるためである

雲王自治政務 委員長に就任

蒙古自治問題に關し支那政府は曩に何應欽を指導長官とする自治政務委員會制を定めたが、蒙古側これに承服せず、豫てより支那、蒙古間に紛議を重ねてゐたが今般蒙古側は同委員會の構成を蒙古人のみに限るとし四月下旬百林廟で發會式を擧ぐることとなり、雲王は委員長に、德王は秘書長に就任する模樣である

前關東軍 建築技手 赴任

關東軍建築雇員大垣、岸倉、新山、六反田、柏木、長尾の六技手はそれぞれ第十、九、三、近衛、四、二の各師團に榮轉することとなり、十二日午前九時發列車で赴任した

若山中將 明日來京

十四日午後四時着列車で若山○團長は京圖線で來京一泊して十六日午前八時三十分發列車で北行、十七日午後七時三十分着列車では湖○團長が來京一泊して十八日午後四時三十分發列車で南行奧地に赴く、新任駐屯部隊長の來京離京の送迎を大いにやりませう

外務省辭令

〔東京國通〕十二日發令の外務省辭令左の如し

公使館二等書記官 尾見章

任公使館一等書記官(三等)

法相暗殺を 口走る 精神病者を引致

〔東京國通〕昨夜吉原の遊廓から擧動不審の青年を引致し取調べの結果橫濱指物職海保勇と判明したが短刀を所持し小山法相の暗殺を口走つて居るが精神異常の點も見られる

中銀週報

自康德元年四月一日至同年四月七日

紙幣發行額 [illegible]
準備 [illegible]
保證 [illegible]
錢幣發行額 [illegible]

ザイアス博士 逝去

(ハバナ十一日發國通)元キューバ大統領アルフレッド、ザイアス博士は十一日逝去した

人事往來

▲岡村少將(關東軍參謀副長)十二日午後四時三十分發內地へ

▲吉原隆次氏(日滿會議日本代表)十二日午後七時三十分着大連から

▲榮厚氏(滿洲中央銀行總裁)同上奉天から

▲古田總務司長(司法部)十二日午後十時發內地へ

▲金榮桂氏(ハルビン警察廳長)十三日午前八時發哈市へ

▲稻原昌龍氏(前吉林吉敦經理課長)十三日午前九時發奉天へ赴任

▲尾松シヅ子氏(前室町幼稚園保母)十三日午前九時發鐵嶺主任保母に赴任

團体

▲大阪工業新聞社員十三名十五日午前六時來京ヤマトホテル投宿十六日午前十一時三十分發奉天へ

▲大分商業學生五十八名二十日午前六時來京二十一日午前十一時三十分發奉天へ

▲戰跡弔魂見學團二十名二十一日午前六時來京二十一日午前六時二十分發奉天へ

▲京都府立桃山中學生百三十名二十日午前六時來京午前十一時三十分發奉天へ

海外經濟

▲銀塊及爲替
倫敦銀塊 [illegible]
先限 [illegible]
紐育銀塊 [illegible]
米英爲替 [illegible]
米日爲替 [illegible]
米支爲替 [illegible]
スチール株 [illegible]
アナゴンダ株 [illegible]

▲印棉
現物、五月限、七月限、十月限、十二月限、一月限、三月限 [illegible]

▲上海標金
ブローチ、オームラ、ベンゴル [illegible]

昨止値、高値、安値、本寄、步値 [illegible]

▲上海日本向(第一回) [illegible]

▲上海倫敦向(第二回) [illegible]
▲上海紐育向 [illegible]
▲大連金鈔票 [illegible]
▲大連上海向 [illegible]
▲大連臺台向 [illegible]
▲阪神日米爲替(第一回) [illegible]

各地市場

▲大阪株式 [illegible]
▲同短期 [illegible]
▲大連株式 [illegible]
▲大阪三品 [illegible]
▲大阪棉花 [illegible]
▲大阪期米 [illegible]
▲仁川期米 [illegible]
▲橫濱生糸 [illegible]
▲神戶豆粕 [illegible]
▲カルカツタ麻袋 [illegible]
▲大連特產 [illegible]

新京市況

特產現物 出來高 [illegible]
大豆 [illegible]
高粱 [illegible]
小豆 [illegible]
包米 [illegible]
錢鈔 [illegible]
現大洋對金票 [illegible]
國幣對金票 [illegible]
現大洋對鈔票 [illegible]

ハタハタハタメク 總領事館の旗
一月に一旒宛風に喰はれゆく その額一年五百圓

領事館邸に二百尺竿頭高く朝夕翻る祖國日本の象徴日の丸の旗を仰ぐ時異郷にある我々は只崇敬の念にうたれ日本人であることの感激に涙るへ浮ぶものであり亦一面非常なる力強さを感ずるものであるが時に仰ぐ時その地質は無慘に裂かれているをしばしく見受ける、論ずるまでも無く日章旗は我等のすべてであり、日本人としてこの痛ましい狀景は見るに忍びざるところである一日領事館を訪れ事情を聞いて見ると

旗の破れていることは日本の權威の上にも亦在留民諸氏に對しても誠にすまないと思ひ常に注意はしてゐるが何分滿洲の風は强烈で新調も一月をたへることが出來ない、其の上一旒 價格三十圓で現在毎月一回は新調をしているがこの旗に要する一ケ年の維持費は五百圓以上の多額な數字を示す狀態であつて考慮と實行とがともなはず良い方案はと考究している次第であると當局の苦衷も無理からぬものと思ふが一面在留民に於ても祖國日本の權威のため物質的に援助を申出でるものがないだらうか

六大學リーグも 中繼 新京放送局のサービス

新京放送局では東京中央放送局との交渉がまとまつて來る十四、五、六の三日間新京野球ファンのために東京大學、野球聯盟極東大會派遣チーム銓衡試合を中繼放送することゝなつてゐるが更に東部における春の六大學リーグ戰を戰ひ最も華な五月十四、十五、十六の三日間毎日午前九時四十分から午後五時まで中繼放送することゝなつた

傳染病患者 運送自動車着く

新京消防隊衛生係では傳染病患者の隔離を敏速にするため今回患者輸送自動車を購入し二日到着した、同自動車は最も新しい三十四年型インタナショナルで患者二人付添人二人を收容することができる

皇后陛下 函館罹災民に 御下賜品

〔東京國通〕皇后陛下には函館大火の罹災民中六十才以上並びに十四才未滿の身寄りなき者及び重傷病者四百八十七名に對し十二日白綿ネルを御下賜あらせられた

競馬ガラも 附屬地では賣らさぬ 新京署から嚴達

既報、滿洲國馬政局發行の奉天、ハルビンの競馬騰搖彩票（競馬ガラ）販賣の指定取次人として日本橋通松尾商店が許可されたが新京署保安係では財政部發行の彩票代賣と同樣とみなし十三日松尾商店に賣出の中止を命ずるとともに關東廳警務局に賣出の可否を申請した

功績賞と 金一封追授

去る七日驛踏切勤務中自轉車通行人が踏切線に突入して危險が急迫したのを見た劉雨山氏は挺身線路に突進してよくこれを救ひ出したが不幸にして機關車にふれて終ひに殉職したその犧牲的精神の熾烈にして職務に忠實であることは誠に社員の龜鑑であるとの意味で滿鐵本社では表彰規程によつて功績章並びに金一封を追授した

殉職驛員は 鐵道部葬

七日新京驛西踏切線路で殉職した故劉雨山君の告別式は來る十六日午後二時から大同廣場左手前の滿洲護國般若寺で鐵道部葬で營まれる

鐵道電報 横書に戻る

既報、滿鐵々道電報の書式は二月一日以來縱書に改めたが諸種の事情を考慮した結果二十一日から再び從前通りの横書に復すること

全滿教練協議會 昨日第一回

既報昭和九年滿鐵主催全滿鐵學校教練協議會は十二日午前九時から新京商業學校講堂で開催された、有賀學務課長開會の辭を述べ、山西滿鐵理事の挨拶あ、學校教練振作に關して改善を要すべき點の意見發表あり協議事項希望事項の協議をなし午後三時終了した、出席者は次の如し

本社山西理事、河本理事、有賀學務課長、秋山視學、池田主任、關東軍司令部、石川少佐、滿洲醫科大學豫科奧山主事、池田大佐、小出少佐、南滿工業專門學校小山校長、飯島中佐、鞍山中學校、堀越校長、伊藤大尉、奉天中學校、粟屋中佐、新京中學校、矢澤校長、新京商業學校、東校長、山內少佐、安東中學校、袖原校長、服部少佐、旅順中學校、牧島校長、岡田少佐、傍聽者に辻松太郎、赤塚吉次郎森教師（以上）

午後希望事項の討議を行つた

諮問事項

一、學校教練振作に關し改善を要すべき點如何

協議事項

一、昭和九年度聯合野外演習並射擊大會に關する件（學務）

二、在滿中學校以上の教練服を統制するの可否（工事）

三、生徒の點數に對し頗る敏感なる點教練實施上甚遺憾とする處少しとせす之か根本的改革具體案を研究し濶達なる氣宇の養成に努め度し（安中）

四、在滿學生として教練實施上更に特殊性を濃厚ならしむる如く教練教育進度を改正せられ度射擊に徹て特に然りとす（安中）

五、生徒の學科表利用の實施の件を上級學校に徹底せしめられ度（安中）

六、大連防空演習に參加する件（工事）

希望事項

一、兵器手入場を速に設置せられたし（京商）

二、兵器修理に要する技術者を雇傭せられたし（京商）

三、教練用評價を明示せられたし（京商）

四、雨覆教練設置の件（京商）

五、配屬將校教練教師の沿線及內地への見學視察研究の途を講ぜられたし（京商）

六、野外演習附添旅費を增額せられたし（京商）

七、滿鐵初等學校高學年に簡單なる教練を實施されたし（京商）

八、野外教練實施に當り社外線に鐵道乘車賃補助の件（安中）

九、銃器格納庫設置の件（安中）

一〇、州外聯合演習は經費の許す限り毎年行はれ度射擊大會出場者數は可成人員增加の件（安中）

一一、會社中學校規則第十七條により第三學年に入學を許す場合入學後教練の實施並兵役上の特典につき特別の御取計願度（安中）

一二、銃器整備の限度を第五第四學年の定員總數とし之を充足する如く顧慮せられたし（撫中）

一三、教練に關する備品並修繕に要する經費を增額し費目中に教練用として區分せられたし（撫中）

一四、體育館及銃器庫を新設せられたし（工事）

一五、銃器增加整備の件（奉中）

なほ、協議事項中第一の問題は方法場所については追つて研究することになり第二は十三日の關東廳主催協議會に提出することになり、第五は撤回され希望事項の第三は從來通りと決定した、他は一通り聽くだけ聽いておく程度で果して實現されるや否やは不明である

御下賜の煙草着く

既報、畏き邊りから滿洲事變の功勞滿鐵社員に御下賜の煙草二百十四箱、千七十本は十一日午後七時三十分着はとで新京に輸送されたが管內各驛區に傳達の分九百本は十三日午前九時五十分發列車で鐵道事務所員谷川、黑田兩氏の護送で傳達された

佐竹令信氏遺兒 國防費百圓寄附

元開原民會長本社開原支局長故佐竹令信氏の遺兒豐子さんは去る三月二十七日付の書信をもつて關東軍司令部に對し亡父の宿望により防空費の一端にもと金百圓を寄贈した

臺銀問題から 財界巨頭連にメス
帝國人絹の背任横領暴露 商相の辭任もこれ

〔東京國通〕帝人問題に絡る第六十五議會に於て貴族院 關 彦氏等が中島前商相の綱紀問題に關して問題化した臺灣銀行を繞る帝國人絹株肩替り問題は別項の如く大日本國粹民衆黨執行委員長蓮井繼太郎二氏の告發となり爾來東京地方檢事局の黑田檢事が主任となり枇杷田、長尾兩檢事之れを輔佐して蓮井氏等告發人を召喚事情を聽取する一方帝人並に神戸製鋼の持主であつた神戸鈴木商店支配人金子直吉、同商店の顧問格であつた元東京商工會議所會頭藤田謙一氏等を重要な參考人として屢々召喚愼重取調べた結果、檢察當局も該告發狀の重大性を認め徹底的に眞相を剔抉し世の疑惑を解く事に決意し極力內偵の結果愈よ四月五日午前八時を期して東京地方檢事局は豫審判事並に警視廳盛本搜查第二課長以下の係り刑事の應援を求め大活動を開始し品川區上大崎長者丸二七九臺灣銀行頭取島田茂氏邸に堀（忠）檢事篠原豫審判事、淀橋區諏訪八帝國人絹株式會社取締役永野護氏邸に江口檢事、德田豫審判事目黑區芳窪一一三同社監查役河合良成氏邸に安部檢事小幡豫審判事、日本橋區江戸橋一ノ七ノ一帝國人絹株式會社社長元臺銀整理部長、高木復亨氏邸に折原檢事、長尾豫審判事芝區三田四國町二ノ一號會社員正力松太郎氏邸に久保內檢事、尾後豫審判事日本橋區江戸橋一ノ七ノ一山叶商會に堀（眞）檢事、八木田豫審判事が一齊家宅搜查を行ひ重要書類を押收する一方日本橋區室町四ノ五一帝人東京支社に市島檢事、麴町區丸の內一ノ二臺銀新京支店に渡邊檢事が出張、關係書類を提出せしめトラック二臺に積載して引揚げたがこれと同時に秘かに去る二日夜行で下阪した枇杷田檢事は四日夜下阪した長尾檢事と落合ひ東京と呼應して五日朝家宅搜查を行つた尙ほ同日午後帝人社長高木復亨氏は同社取締役岡崎旭氏と共に警視廳に

『出頭』を求められ搜查第二課渡邊係長から一應取調べを受けた後刑事二名に附添はれ午後十時五十分東京驛發列車で大阪に護送された

帝人本社を襲ひ 行李廿八個の證據書類押收

〔大阪發國通〕帝國人絹株並に神戸製鋼所株賣買に關する背任事件に關し關西方面の取調べのため西下した東京檢事局枇杷田、長尾兩檢事並に警視廳搜查第二課高山警部、小梁川部長、土非刑事の一行は五日正午淀北區中之島二丁目江商ビル六階帝國人絹本社に至り同朝來同社に出張手具脛引いて待構へた大阪府刑事課智能犯係笠原警部補以下廿數名の應援の下に徹底的家宅搜查を行ひ同社株式關係帳簿金錢出納簿を始め書翰類關係書類全部を押收し之を一番捆約廿八捆に詰込みトラック一臺に滿載して午後六時府刑事課に引揚げた、押收の書類は兩檢事を中心に刑事課動員で徹宵整理し一方同社取締役東川義房、庶務課長駒井卓二の兩氏を參考人として喚問し一々押收の重要帳簿につき詳細なる說明を聽取した

高木帝人社長 留置さる

〔大阪國通〕帝國人絹の高木社長、岡崎氏は警視廳の山本、長谷川兩刑事に護られながら途中列車を乘換へて六日午前十時五十二分大阪驛着直に府廳に入つた、前日來帝人本社で押收した證據書類の下調べを行ひながら一行の到着を待ち受けて居た枇杷田、長尾兩檢事は直に府刑事課と打合せの上、高木、岡崎兩氏の外駒井同社庶務課長を召喚して二名の取調べを行つたが午後七時半一先づ打ち切り高木社長のみ留置他の二氏は一旦歸宅を許された

御得度遙拜式 十四日東本願寺で

明十四日午前十時京都本山大師堂で大谷光養麿氏の得度式が擧行さるやがては本願寺第二十五代の法主となるることに定まる同宗派には眞に重い意味をもつた式典であるところから當日午前十時曙町東本願寺では遙拜式を行ふこととなつた

松尾保母去る

室町幼稚園保母松尾シヅ子さんは今度鐵嶺幼稚園任保母に榮轉十三日午前九時發はとで五十餘名の園兒の「センセイサヨウナラ、サヨウナラ」の聲に送られながら赴任した、なほ同女は室町に二ケ年半勤めたものである

愛知縣人會 山內前地方係長に記念品贈呈

新京地方事務所山內地方係長今回洮南鐵路總局榮轉に付き新京愛知縣人會有志は同氏のため紀念品を贈ることになつた

尙氏は十八日朝赴任の筈へ縣人多數の見送りを希望するとの

バーダイヤ開業

ダイヤ街の目拔の場所に街名をかたどつたバーダイヤがこのほど新築され、いよいよ十二日から開店することになつた同店主吉田ミチ子さんは佐賀の人でバーの經營については玄人で、店飾についても他店と異にし、なかなか感じがよいマダムのミチ子さんは實に朗かで自からホールでサービスをなすと意氣込んでゐる

拾ひもの

▲蓬萊町三丁目西タラさんは十二日午前十一時ごろ西廣場消費組合前で現金十圓を拾つた

▲西三道街馬車夫武萬綠氏は十二日午後二時ごろ滿電前で下車した客が車上に置き忘れてゐる茶色背廣三ツ揃を拾つた

落しもの

▲入船町二ノ一香月ミサヲさんは十二日午後二時四十分ごろ吉野町二丁目で皮製蟇口一個在中五圓余を落した

盜難屆

▲吉野町一ノ二四尾本留三郎氏所有自轉車一台時價五十圓を十三日午前八時頃中央通滿鮮ビル前で竊取された

けふの銀相場

鈔票對金票	一九四二五
現大洋對金票	二二三五〇
國幣對金票	二二三五〇
現大洋對鈔票	九四五〇

對比追電發出
十四日の回答を待ち 我が方の態度決定

〔東京國通〕體育協會緊急理事會では十二日午後九時卅分山本博士宛に我が体育協會の行動に何等の『誤解』なき旨を打電し、引續き丸の內ホテルに於て體協の今後の處置及び比島に對する方策等に關して協議を進め十三日午前零時卅五分に至つて漸くその態度を決し、山本博士の電文を發表すると同時に比島に對して次の如き追電を發した、山本代表より貴協會に對し十二日附本協會宛信取消しの旨電報ありたる由なるもおは爲に發した電信の主要部分に非ざる（山本代表の報告に依れば全く意外とする處にして）この電文に關する事情を察せられ本協會が滿洲國のメンバーシップを要求せぬ當に招待參加を希望すること、右については 上に規定なきも既に印度參加の前例ある事及びスポーツ精神より觀るも又好意禮讓の上から論ずるも參加の資格ありと認められるものが參加の希望を申出づる場合之に對しすべからく鄭重なる考慮を拂ふべく無下に之を拒絕するが如きは愼しむべき事は既に十二日附電信並に種々の機會に於て本協會の說述したる通りなるが、この點につき貴協會の深甚なる反省を『要望』せんとす、斯くて我體協の對比態度はこゝに去る十一日夜の第一回緊急理事會で決せられたるものと同樣係るき比島側の正式解答を待つて十四日正午迄に寄せらるべき我最期的態度を決定する事となつた

比島體協副會長バ氏 聲明書を發表

〔東京國通〕フイリッピン體協副會長バルガス氏は十一日目下滯京中のマニラ大新聞聯盟總裁ファロサン氏に電報を寄せ氏を通じてマニラ體協側の態度を發表した

余は日本及び日本人に對し偉大なる尊敬の念を抱くものであり從來通りの最も親密なる友好關係を持續せんことを切望して止まない、現在の規則の下にありてはフイリッピン体協は上海に於て取りたる態度以外の行動に出ることが出來なかつた、但しフイリッピン體協は現行法規の下に於ては支那側は大會への參加には滿洲國一致を必要とするといふ立場をとらざるを得ざるに反し他方マニラに開かるべき極東大會常務員會に於ては滿洲國一致に代るに多數決を以てすべき樣現行規則を變更するに欣然贊同するものである、吾々フイリッピン體育協會は此の點に關しては既に山本博士に約束せるものであるが吾々は此の約束を實行するに躊躇するものではない

電報で 体協々議 山本博士より

〔東京國通〕体育協會では既報の通り比島側に打電する處あつたが、十二日午後二時に至り山本博士より體育協會の採つた態度には誤解があり、個人的諒解であつた旨入電あり、又山本博士は比島体協會長バルガス氏宛に日本の發した電報は一先づ取消され度しと打電した旨通知があつたので、体協側では直ちに各理事參集協議を行つたが夕刻迄には態度を決定せず、午後七時から再び全体會議を開き善後策を協議する事となつた、体協側は目下進退兩難に陷つてゐる

滿洲國代表 日本体協に合同會議開催を要求

〔東京國通〕在京の滿洲國体育協會藤森代表は極東大會參加問題に對する日本体協の態度が決定しないので業を煮し三月二日の合同會議に於て、「最後的場合は再び會議を開く」との約束に基き最近合同協議會を開催されたいと體協に要求した

佐藤選手の葬儀 協會葬と決定

〔東京國通〕日本庭球協會理事對重氏は故佐藤選手の初七日に相當する十日群馬縣長尾村の佐藤選手の實家を弔問し實兄寺さ佐藤選手の遺品到着及協會葬をするについての打合せをしたが、遺留品は先輩幅田雅之助氏が上海まで出迎へ、遺品著京後早稻田大學庭球場に於て堀田庭球協會長委員長となり協會葬をすることに決した

新版江戸八景（上映禁上演）

行友李風氏外四氏作　鏑銀平他二氏畫

江戸役者と御殿女中

一九　行友李風

翌日、おさくがお屋敷へ上つてお万に、このことを傳へると。

『如何にも、それはもつともな話。……では、そのやうにして下され――』

と、打ちあはせが出來ました。

そこで、手飼ひの小猫玉といふのに、厚紙の袋をかぶせ、泣き聲のもれぬやうに充分氣をつけて、長持へいれ、錠前に、嚴重に封印をつけました。

『玉や。――窮屈でも、しばらく、辛抱してゐてくれよ』

與兵衞は、人間に物いふ如く、さういつて、送り出しました。

これは、万に一つ、納戸役人にあらためられるやうなことがあつても。

『畜生のことで、勝手に忍び込んだものとみえまする――』

といへば、大したお咎めもないであらうとの考へ。

さてこの猫の入つた呉ぷくの品通りの長持ち一棹に、お藏入りのけといふもの𦀌を添へて、手代が付き添ひ、尾原家の通用門から、ギシ／＼とかつぎ込みました。

通用門をはいると、納戸役人が控へてゐる。――

『あゝ、豆伊勢の手代か』

『はい。――本日は、お藏入り二タ棹に呉ぷくの品通り一ト棹、…あはせて、三棹にございます。品付けはこれに――』

『さうか。――して、品付けの通り、品違ひなどはあるまいな』

『恐れ乍ら、相刻万端なきやうと、充分の上にも充分に引あはせてございますが、何卒、一應のおあらためを』

『いやよい／＼。あらためる程なら、斯樣に言葉の念は押さん。この方も、御用繁多であるから、このまゝ通しつかはす。――』

『ありがたき仕合せ。――尚、後日にも、万に一つ、品不足等のことがございますれば、直ちに御屆け下さいますやう。――すぐにお屆け申し上げるでございませう――』

役人とて、毎日のことですから一々、中の物を改めるのは、面倒ですから年來出入りのごふく屋品物に間違ひのあつたためしもないことですから言葉で念をおすばかり。

これから、尾原家の小者といつて、納戸詰の小役人が扱ひで、お藏入りの方は、お買物藏へ運び呉ぷくの品通りは手かきにしてお錠口からごふくの室へと運びます

『伊豆藏より御注文の長持ちが屆きましてございます』

『おゝ、さようか――』

針女頭のお万は、すぐに、菊路にこのことを知らせると、

『すぐに開いてみよう――』

菊路が立ち會ひで、錠をはづして、蓋をあけると、中からとび出して來た小猫。

總身まつ白にして、差し毛といふのが、一本もまじつてゐないまことに可愛い。

『おゝ、大層、可愛い猫でございますこと。――幸ひ、これは、妾の手許で飼つてやりませう』

『ほんに可愛い猫ぢや』

菊路もうなづいて――お万と顔を見合せ、につこり笑つて。

『それ、大丈夫であらうが』

と小聲にさゝやく。

『はい――』

お万もうなづく。……

お万は、この猫を手許で育てることになりました。

四月十四日　土曜　乙卯　先負　閉　女宿　旧三月一日

●一白の人　分相應の計畫は順調なる經路を辿り發展す　申と丑と寅が吉
●二黑の人　輕擧妄進は固く愼しむべし喧嘩を起し易し　丁と辛と丑が吉
●三碧の人　幸運の再來に乘じ一事に專念すれば奏功す　丙と坤と申が吉
●四綠の人　愛慾に溺るれば一門の衰微たる根源となる　丁と坤と申が吉
●五黃の人　福神我家を窺ふ招き入るゝは自己の勉次第　庚と癸と艮が吉
●六白の人　一致合同して足並み亂さず進めば咎を免る　丙と辛と寅が吉
●七赤の人　無理の行動は大疵を受くるに至る病厄注意　乙と丁と辛が吉
●八白の人　早成を期して敗れんより晩成の全きを願へ　丁と癸と艮が吉
●九紫の人　業績は佳良なれど健康に注意又移轉旅行凶　戊と壬と癸が吉

大正九年十二月四日　第三種郵便物認可

新京日日新聞

定價　一部金三錢　一個月金八十錢　郵税　一個月金十五錢
新京永樂町四丁目一番地
發行所　新京日日新聞社
電話三〇〇番・三五二二番
發行人　十河集忠
編輯人　松本男
印刷人　谷啓二郎

三百万人收容の日本移民地を買收

吉林省東北部地方開發に滿洲國政府乘出す

滿洲國政府では吉林省東北部地方の開發をはかるため同地方に優良な日本農民多數を移住せしめることとなり既に土地商租に關する件も關東軍との間に協調がなつたので、吉林省公署總務廳長三浦錄郎氏外若干名および國都建設局總務處長結城清太郎氏外若干名を二班に別け目下現地に派遣し關係各縣の實情を調査してゐるが、これが買收用地は依蘭、勃利、方正、密山、虎林、寶清、同江、富錦、佳木斯の九縣下に亘り日本の九州の面積にも匹敵する廣大なもので裕に三百萬人の移民を入れるにたるものである

米穀買上奏效　米價最低價格を上廻る

【東京國通】久しく逆境にあつた米價も最近政府の米穀買上一千萬石突破を反映して好調に轉じこと十三日は常に最低價格を上廻る情勢である、即ち十一日の深川、神田川兩精米市場の銘柄別相場と最低公定價格を比較すると何れも二十八錢乃至一圓七十二錢の高値を示し、而もこの傾向は今後も持續し目下の需給關係より觀て六、七月頃に異常な暴騰を來すと觀られて居る

北滿農村の窮狀陳情のため日、滿商議三代表赴京

【ハルビン國通】在哈日滿商工業代表十數名は十二日日本商工會議所に會合、北滿農村匡救問題を中心として協議した結果日本商工會議所會頭加藤明、滿洲國商總商會長朴文欽等三氏が三名の陳情委員は中央政府に窮狀具陳のため十三日午前九時三十分ハルビン發新京に急行した、かくて北滿農村救濟問題は俄然表面化して來た

本船は出來るが支那籍船は權限外にあり日本船のみを取締る場合はその壓迫となるので海務局では十二日係官が關係廳に出頭協議した、尚大連某所に達してゐる情報によると土建其他は今後約十二萬四千の苦力を必要として

滿鐵辭令

稻葉孝八
神岡房雄
事務員を命す新京驛々務方を

ベーリンガムに潜水艦根據地

米海軍當局斷然否定

【ワシントン十二日發國通】最近米國政府がワシントン州太平洋岸ベーリンガムに潜水艦根據地を設置するとの說あり、地元たるベーリンガムより右報告に關し海軍當局に照介があつたが、十二日海軍省當局は右報道を否定し左の如く言明した

ベーリンガムに潜水艦根據地を建設するが如き計畫は絕對にない、既設のものだけで充分太平洋岸に於ける米國海軍の必要を充してゐる尤もコロンビヤ河口近くのタングポイントステイ－ションに陽遂艇、潜水艦の根據地を設置する運動があつたが、海軍軍令部は反對して取止めた

入滿苦力取締方考究

【大連國通】山東苦力の滿洲國出稼ぎは滿支兩國當局の制限にも拘らず大連港入港の苦力船は何れも苦力を滿載して來てゐるが滿洲國に於ては既に本年二月末以來の入港苦力を以て國內勢力は飽和狀態を呈して居り且之等苦力に混じて不逞分子の潜入する虞れある爲此程新京當局より關東廳に對し大連港上陸苦力の制限な制限方依賴あり、十一日頃之を大連海務局に移牒して來たが本問題に對する海務局の見解は苦力船の取締りは日

日蘭會商は五月十九日開催

我長岡代表は五月上旬出發

【東京國通】日蘭會商開始時期は蘭に武富駐蘭公使と和蘭外務省との間に折衝中の處來る五月十九日バタビアに於て開催する事に決定した旨外務省に公電があつた、依つて我政府の長岡代表一行は遲くも五月上旬バタビアに向け出發するる事となつた、兩國代表左の如し

△日本代表
前駐佛大使長岡春一
越出バタビア總領事
△和蘭代表
大學評議委員會々長ファンカン

注目の南昌會議

意見一致した模樣

華北における問題決定權を黃郛に附與せる模樣

【東京國通】對日政策を決定すべき南昌會議は、蔣介石氏を中心に汪精衞、黃郛、曾仲鳴氏等國民政府要人出席の下に開かれたが、遂に華北を中心とする時局打開方針の決定を見たものの如くである、支那側の消息によれば、滿洲國の承認を意味する結果を招來せざるやうこの點を考慮に入れて通郵、通車問題の交渉決定權を黃郛氏に附與するに決したと

南支情勢

滿鐵上海事務所長石井成一氏語る

【大連國通】滿鐵上海事務所長石井成一氏は二月中旬より南支視察に赴き香港汕頭、廈門を經て臺灣を廻り十二日、「ほんこん丸」で來連したが南支方面の情勢につき語る

南支方面の反日氣分は大分緩和された、日本との交易もボツボツ復活し滿鐵も南支進出の可能性がある、石炭も出炭の餘裕さへ出れば香港、廣東、汕頭、廈門、上海等に相當出るだらうと思ふ

定例閣議　出席の陸相

全閣僚の慰留に翻意せず

【東京國通】突如辭表を提出し其の一擧一動を注視されてゐる林陸相は十三日の定例閣議にも或は出席しないのではないかとさへみられてゐたが午前十時二十分首相官邸に現はれ直ちに定例閣議に出席した、依つて全閣僚から非公式に交々時局重大の折柄枉げて留任され度いと要望するところあり、これに對し陸相より辭職を決意するに至つた旨の苦衷を述べ各閣僚の諒解を求め依然翻意の模樣がなかつた

地方長官會議　五月上旬

【東京國通】更に據りに決定した政府が六十五議會を通過した豫算と法律の施行に就き種々指示を與へると共に更新の氣と人心一新を強調して國民に徹底を期せんとする地方長官會議開催に關し山本內相、潮次官の間に十一日協議の結果五月上旬開催と決定し日取は十三日の閣議に於て山本內相より各閣僚に諮り正式に決定する筈である

陸相問題を愼重に靜觀

政府倒閣運動を警戒す

【東京國通】林陸相の辭任問題に關し政府は三長老閣僚會議の結果に基づく閑院參謀總長宮殿下の御歸京を待ち申し上げその上で陸軍部內の意向を決定善處することとし、目下齋藤首相の手許にある林陸相の辭表の取扱ひに就き愼重なる態度を持して居るが今回の問題に關し兩米一部に行はれて來たつゝ倒閣運動が俄然勢を得て種々の策動をなす向もあるので政府としては此等一切の策動を排して飽くまで相關閣既定方針の通り此の問題が政局に波及することなき樣萬全の注意を怠らず極內の情勢を靜かに觀望しつゝある

岡本一巳君

遂に教唆罪で留置

【東戶國通】政治問題化するに至つた岡本一巳代議士の小山法相告發事件は去る三日赤坂待合小泉の女將お鯉さん事安藤てるを僞證罪で強制收容するに至つたが、岡本代議士に對しては數回に亘り取調べられた結果證言の疑あるも一先づ僞證教唆罪で十三日午前警視廳に引致留置した一方檢事は岡本代議士宅を始め岡本事務所安藤てる宅等の家宅搜索をなし多數の證據を押收した

滿洲防空協會支部

昨日發起人會

近く發會式擧行の運

滿洲、關東洲および滿鐵附屬地の防空施設の研究、防空知識の普及並に重要都市の防空設備の促進をはかるため設立された社團法人滿洲防空協會では新に新京に同協會の支部を設置することゝなりこれが準備方を金壁東氏に委囑した、金氏は

高山勝司、高橋富十郎、東映、田中啓、四戶友太郎、荒木章、大原萬千百、石崎廣次郎、小澤禎吾郎、芳賀千代太、原口禎介、樋口正治、山領貞二

の十三氏外十七名でこれが發起人會をつくり十三日午後二時半から大和ホテル會議室で第一回の發起人會を開き支部役員に關する件、發會式擧行に關する件を協議した

滿洲帝國の躍進（中）

外交部宣化司長　川崎寅雄

建國滿二ケ年國內治安の維持が漸く鞏固となりて康德元年を迎へ愈々帝制實施の慶事を祝福すべき御大典の盛儀が營まれる事になつたのである帝の明德が大いに昂揚し又民衆の讃仰する所となり今回政府當局に於ては帝政實施の本義を明かにし建國精神の發揚を計る爲め以下數點を強調して民衆敎化の運動をなす事になつてゐる

一、順天安民の精神の徹底
天意に順つて庶民の安福を計らんとする主旨に基き皇帝は仁德を以て國を治めらるるの謂である、由來東洋に於ては西洋に於ても近世紀に至る迄は略同樣であつたが國あれば必ず王者あり皇帝あるを以て國家の常態として居る、只其王者たり主權者が專制を以て民に臨み獨裁的暴政を恣にし覇道によつて國を治めたのは屢々歷史に散見する所なり、然るに新興滿洲國に於ては建國以來王道治國を以て政治の大本となし、而して之に依つて國政を行ふ事は吾々の最も衿持とする所であり是が萬古不易の國本であると信ずるものである

二、今次の帝政實施が清朝の復辟に非ざることは國務總理の聲明にも明示されて居る通り此帝制確立は滿洲帝國としての新しい踏み出しであつて東洋流の解釋によれば執政閣下は天命により登極さるゝとの謂であるが又一面全國的に起つた請願書に白書の如きものに現はれた民意の發動はとりも直さず天意具現の表徵であつて茲に天命民意の一致君民一如の境地を現出するものとも云ひ得るのである

三、建國精神の普及徹底
建國二ケ年ならずして建國の大精神たる王道主義が政治の上に着々具體化せれつゝあることは歷史上最も特筆すべきことである、二年前の混亂狀態は全く治り國運隆昌の礎石となり又諸鮮、露諸民族相集りて王道政治建設に取り掛つてゐることを一層一般民衆に徹底することである

建設事業も着々進捗して居るのであ、之等の事實は即ち建國精神の顯現に外ならぬのであつて外に向つては國際信義を重じ外よりの侮りを受けたことはないのである

四、國民自覺の喚起
滿洲國民は世界に比類なき王道治下の國民たる自覺を喚起して王道樂土の實現に精進し世界政治の模範たる國家建設の大業に益々力を致すべきを強調するものである

五、五族協和精神の高唱
今や民族間の確執、排擊は世界の一般潮流であるにも不拘、我國は特に民族協和の大精神に則り人種、民族の差別を認めず日、滿、蒙、鮮、露諸民族の人種的要素に於ては人の和を占めて居り、更に文化的的經濟的見地よりは地の利を得て居るのであ、之等の要因既にあり兩國民の融和提携の實が擧がらざれば吾等の努力の足らざる所と云ふべきである

六、次に此際最も力說すべき點は日滿提携の強化であつて換言すれば日滿の精神的結合と文化的融和と經濟的連絡との實現である
滿洲國の建國は日滿兩國によりては實に歷史的事實に徵し天の時を與へられたものと云ふべきであり、地理

大阪入りの鄭特使一行

各方面歷訪をなし中之島々會堂で一場の挨拶

【大阪國通】鄭特使一行は十三日午前九時九分大阪驛着列車で京都より來阪驛頭には縣知事、關市長、寺內師團長稻畑商工會議所會頭、其他熱狂的の歡迎裡に大阪ホテルに入り、小憩後同十時から雨中を府廳、市役所、第四師團、衞戍病院等を訪問し滿洲事變の傷病兵を慰問し、更に大阪城を見學、天守閣より黑煙濛々く日本の工業センターを一目に瞰、豐臣秀吉の偉業をしのび感歎の言葉を投げ、午後二時より中之島中央公會堂に於ける府民の歡迎大會に臨んだ、會衆は三千、百に及び鄭總理は府民の、歡迎に對し永遠に變ることなき日滿提携を熱烈な口調で說き會衆に深き感動を與へ、殊に大阪と滿洲との緊密なる經濟的關係の重要なるを高唱し、三時半から大每大朝を訪問、日本新聞の發達に驚きと滿洲建國以來日本新聞界の援助を感謝し終つて文樂座で一時間餘淨瑠璃、古代文藝を趣味深く觀賞、五時半南區宗右衞門町の料亭新大和屋に於ける府知事、市長、師團長合同歡迎會に臨み、同八時甲子園ホテルに一泊、十四日は遲れて來阪する熙大臣一行と共に午前十時東區農業町府立博物館構內俵德堂を訪ひ、正午綿業會館に於ける日滿經濟協會主催の午餐に

一深い一

服部第四旅團長始め青

熙大臣

桃山御陵參拜

【東部國通】京都に一泊した熙大臣一行は十三日午前九時雨の中を桃山御陵に參拜、宇治の春色を賞で旅宿柊屋に入り旅の疲れを癒し十四日午前七時卅一分京都發、鄭總理の後を追つて大阪に赴く筈である

「出席」

在阪實業界の巨頭と會して日滿提携の忌憚なき意見を交換し、更に造幣局見學後自動車で神戶に赴き神戶市の歡迎會に臨み同夜舞子住友別邸で一泊の豫定である

偽造紙幣詐欺賣買犯人

白系露人逮捕

【奉天國通】一攫千金慾の深い滿洲商人を相手に僞造紙幣を賣付け多額の金額をせしめた巧妙なる僞造詐欺賣買犯が城內憲兵隊の手により逮捕された、奉天附屬地淀町警察署長官舍裏に住む白露人イオウルギイ、リフドピノフ(三五)は友人ワリシから僞造紙幣賣買の方法を覺え二名共謀の上第一回に百十圓を儲ふけ分配したが第二回目には一ケ月前九十圓を捲き上げ、第三回目には一萬圓を獲得し山海關に高飛びせんと企てたが七日夜逮捕されたもので取調べの結果其の僞造詐欺手段が明白となつた、即ち最初各國紙幣に撮し取るもので最初は本物の紙幣を渡し信用せしめ次回に多き金額を受付けやう詐欺手段で僞造紙幣製作材料が持込んだ紙幣は瞬時にすり換へ僞造紙幣に光澤を付けるとて流酸に入れて燒却一部返却して十部の現金を取得る方法であり、三回目は四千圓で一萬圓造るとの甘言にまんまと滿商をだまし込まんさする時逮捕せられるに至つたものである

牛心臺鮮人襲擊事件

禍根一掃を期す

某所に達した情報によれば本溪縣管內牛心臺地方には事變以來鮮農を數住させ滿人所有の田地を永借して水田を營んで居たが、同地方滿鮮人間の民族的軋轢は稍もすると尖銳化せんとし、過般本溪縣公署の保甲制度の實施に伴ふ武器回收等の際は種々複雜な事件の發生を見、一方附近の匪賊はこれを好機會として同地方襲擊を企て去る四月七日午後十二時頃壯餘名より成る匪賊は同地方鮮農を襲ひ放火、虐殺等凡ゆる慘虐をほしいままにし、鮮人八名は之が犧牲となり負傷者數名を出すに至つた、當局では右事件を重大視し事件は單なる匪賊の襲擊のみに止まらず、この機會に於てその間に介在する根本の禍根を一掃すべく目下同事件の詳細調査につきめてゐると

日華聯合繪畫展

五月開催

【東京國通】弘法大師千百年遠忌を記念して青年黨ら五月の頃上野美術館に日華聯合の繪畫展覽會が開かれるが、この際に中國美術家、我畫壇人の彩管の交功が認められるといふのは兎角圓滑を缺く日華兩國にあつては特に文化的提携が必要だといふ見地から國訓の駐日密教研究會員王一亭氏等は金開瀛等か高野山の招請に應じ米朝するのを機會として中華現代畫家の作品三百點を高野山へ寄附する話纏り渡日後直ちに大阪、京都、大覺寺、高野山各地に展覽する事となつたが日本側では之と別個に上海、杭州方面並に北平、天津在住中國畫家の作品四百點に畫家團の作品を交へて上野美術館に日華聯合展覽會を開くので河合卞堂、竹內栖鳳、橫山大觀以下帝展、院展の諸大家は目下製作にいそしんで居ると

佳木斯移民團

座談會開く

一昨年十月入植以來三百七十二名の團員が集團自衞移民を斷行してゐる佳木斯移民團指導員陸軍中佐市川益平氏は八日來京拓務省出張所に移民情況の報告、關東軍司令官に警備情況の報告を了した、氏は十二日午後八時半から中央ホテルで在京新聞記者を招き移民團に關する座談會を開いた、なほ氏は十三日前八時三十分發列車で佳木斯に向つた

東部線六道河子に匪團襲來

【ハルビン國通】當地某所着電に依れば十日午後十一時頃北鐵東部線寧古塔南方約七粁の地點六道河子に數名の匪賊襲來し目下同地にて土木工事中の松本組事務所に發砲しつゝ侵入、邦人一名射殺、日鮮人十數名拉致された模樣であるが詳細は不明である

人事往來

▲吉村秀藏大(吉林省出島警務處勤務科長兼警務科長)十三日朝來京中央ホテルへ

天氣と氣溫

けふの天氣　西の風晴一時曇り十三日の氣溫最高五度九最低零下五度一

滿洲國辭令

民政部事務官　東次郎
兼（薦仕七等）新京特別市公署事務官
新京特別市公署行政處勤務を命す　高崎美吉

任特殊警察隊譯官（委任一等）　有山二
任特殊警察隊譯官（委任二等）
朝日山萬二郎　藤本嘉　岡田金藏　川口實　中村志雄　山崎嘉市　本屋敬一三

任特殊警察隊警佐（委任一等）各通
藤澤智徹　伊本松四郎　船橋任保　藤文勝平　安井仁重郎　池田七　賀川喜敬　岩屋嘉三次　平田功　赤水富重　大浦一郎　山田松一　中野政一　井上秀藏

任特殊警察・技士（委任二等）各通
三木知博　赤羽直人　山口勳　寺岡冷一　水野綠兵　安藤嶽　近藤金男　谷貢吉　種田久一　岡部慶太郎　大塚仁助　野澤三吉　高山文軍　黑田正七郎

伊波盛喜　安齊末造　山本榮助　守屋仙吉　油井錬一　鮎川藏　宮崎琢　飾田利一　吉岡早苗　飛鳥井隆太郎　大賀定　魁生嘉平　幅留戶次郎　出水友吉　森永朝治　吉野重吉

任特殊警察隊巡官（委任三等）各通
矢田幸一　沖茂雄　近藤壽　畠中武雄　下井幸雄　鵜池勇次　東來　中根沐　瀧子錬一　橫尾好春　奧村德圓　川崎秀世　齋藤末人

任東札魯特旗屬兼四札魯特旗屬官（委任一等）

命す（各通）
新京驛々手　田備森象芳
秋火信號塲驛手を命す　樋口和子　中村アサ子
甲種傭員を命す新京醫院看護婦を命す（各通）　赤垣春夫

これは又氣の早い 早くも氷行商出願

昨年より二十日もはやい 係員もオドロク

陽氣の春が訪れたかと思ふ間に早くも暑かしく灼熱が警察署に訪れ、係員を驚かした……十三日市内大和通五十五番地朝鮮人楊週燮氏は新京署衛生係を訪れ氷雪行商許可願を願ひでた、氷雪行商の願出は本年に入つて同人が断然トップを切つたが昨年の出願に比すると二十日間早い、この向きでは多数の人々が押寄せるであらうと係員は語つてゐる

西公園の賣店申込み 卅九件に達す

昨年の十五件にこの數字 許可されるは七件

既報、西公園内賣店地使用入札は十四日から十八日午後三時まで地方事務所地方係受付で行はれ、十八日午後四時から開票、再入札の必要あるときは直ちに再入札を行つて四月二十日から賣店開業を許可するが、十四日から入札開始なのに受付に十三日午後二時までに營業許可願書を提出したものが實に三十九件、然も賣店は僅に七軒しか許可されないのである「去年は六軒に對して十五件申込」なほ入札規程の大要は次の通である

一、使用期間、四月二十日から十月十九日まで
一、使用料入札により最高額をさる
一、料金は凡て前納さして如何なる理由あるも還付しない
一、同一人（親戚、その他本支店關係にあるものは同一人看做）で二個所の使用することを得ず
一、入札用紙は地方事務所受付に用意してある

室町二丁目に お湯屋を出願

田中卓二氏から

人口の急激的増加で附屬地内の錢湯はいづれも大入で毎日入浴者がごつたがへしでいる状況で、市民間に浴場の設置を要望してゐる折から市内祝町二丁目二十三番地田中卓二氏が室町二丁目一番地に新設することになり十三日新京署に許可願を提出した

舞踊と萬才で

滿鐵が社員慰勞の夕 十八九兩日白菊町會館で

滿鐵地方事務所では今回一般社員慰勞の爲來る十八、九の兩日に亘り市内白菊町の白菊町會館で舞踊と萬才の夕を催すことゝなつたが當夜を賑はせる出演者は大阪から來滿した美勝會一座で社員慰問にはまことに氣の利いた催し物として期待されてゐる

米内長官から 時局後援會へ感謝状

先月十二日水雷艇友鶴が遭難するや直ちに新京時局後援會では會長名で見舞金として一金二百圓を送つたが右に對して十二日午後佐世保鎮守府司令長官米内光政中將から荒木會長宛左の様な謝辭狀が來た

拝啓

今回水雷艇友鶴遭難に際しては早速御懇篤なる御見舞を賜り御芳情感佩措く能はず厚く御禮申上候、殉職者一百勇士の合同葬儀も去る三月十七日御陰を以て盛大に執行するを得候處英靈永遠に護國の神たるを疑はず尚生存の十三名亦幸に元氣恢復近く再び海上に活躍し得るに至る可候、惟ふに今次事件は諸賢の御誠意と共に恒に吾等の脳裡に在りて永久に刺戟啓發の資たることを確信するものに有之候

先は不取敢右御禮迄如斯御座候

追伸

御芳志は御趣意に從ひ夫々近く各遺族又は生存者へ可然傳達頒布のことに可取計候

昭和九年四月

佐世保鎮守府司令長官　米内光政

一金二百圓也

今回水雷艇友鶴不慮の遭難に對し殉職者弔慰金として御贈呈の右金員正に拝受仕候

昭和九年四月

佐世保海軍人事部

舞踏會と猫八 函館賑災の催

何れも本社を通じ純益を贈る

寛城子および新京に住む露國人の有志は先に函館大火罹災者のため義捐金を募つてきたが「更に」復活祭を機會に舞踏大會を催しその純益を再び義金として送る計畫を樹てたところ、ダンスホール新京會館宮本氏がこれを賛助し十五日夜同館のホールを提供使用に任かせ、又同館のダンサー連中も舉つてこれを扶け、同夜八時から三圓の入場券を買つて入場したものは別にチケットを買はずに好きなだけ踊れる事になつてゐる、この復活祭は周知の通り露西亞人は何事を抛つて置いても徹底的に遊び廻るのを慣例としてゐる日であるから想像以上の大賑ひを見せるであらう、又三笠町の演藝館では例の猫八一座が十四日から四日間前の通り入場料一般一圓、軍人學生中學小人二十錢で開演しその揚り高中から諸雑費を差引いた「純益」をこれまた函館大火義捐金として何れも本社を通じて贈ることゝなつてゐるからダンスにまた猫八一派の諸藝に好む方に入場そのよき目的を助けて欲しいと希望してゐる

寛城子軍用路 西方民家燒く

十三日午前七時三十分ごろ寛城子軍用路西側門牌十一號崔廣奎外一棟六戸全燒し同八時鎮火した、目下原因損害は首都警察廳で取調中である同家は昨年十二月失火し今回で二回目である

阿片密賣の 相談中捕はる

北海道生れ市内高砂町四丁目六番地青木三郎（四〇）は阿片三百五十圓餘を奉天から密輸入し十二日午後五時ごろ永樂町三丁目二十三番地姜汝慶氏を訪ね買手を物色中を新京署員に發見逮捕された

藝術を通じて 日滿親善をはかる

日滿美術聯合展覽會

この程東方繪畫協會長子爵岡部長景、帝國美術院長正木直彦兩氏から滿洲國美術同人院際事西山文教部總務司長に宛て東方文化の精華發揚の「目的」で兩國聯合の美術展覽會開催の斡旋方を依賴して來たので滿洲國の美術同人院では許文教部次長、西山總務司長、鄭會子仁氏を始め丁交通部大臣其他關係者か會合し其の具體的實行計畫を審議した結果同人院側としては出品者を詳審をも加へることゝ、開催期は本年九月とし新京、奉天、哈爾賓の三都市で開催することゝ等を決定し其旨日本側へ回答を發したが日本側に於ては東方繪畫協會々員の外横山大觀、川合玉堂、竹内栖鳳、小室翠雲、荒木十畝、小堀鞆音、結城素明、菊池契月等日本一流の大家の作品を出品せしめるので滿洲國側でも同人の作品は「勿論」古名畫をも參考出陳し又全滿各地よりの募集作品中より嚴選展觀することゝなつた、この計劃は日本の帝國美術院展覽會にも比すべき空前の大展覽會で元來美術的文化に惠まれざる滿洲國人及在滿日本人に藝術への渇仰を起し又美術思想を普及向上せしめんとする絶好の施設と言ふべく延いては滿日兩國民親善の爲新帝國文化工作の貢獻する所が多く早くも各方面に一大センセーションを起して居る、尚右展覽會は本年は御大典を機し第一回を開催し今後毎年一回之を開催する豫定で相互に年々美術使節を「派遣」することゝなつてゐるが日本外務省文化事業部及滿洲國文教部でも可及的援助を與へる方針であると

その後本社寄託の 忠靈塔寄附金

藤波會と勢好會も

忠靈塔建設寄附金本月一日より十日迄の分千百九十六圓六十八錢は十一日關東軍司令部内忠靈顯彰會委員現金出納の日吉一等主計に引繼ぎをなしたこれで本社扱ひ累計三千五百五十一圓十八錢で、その後に於ける本社への寄託者は金十圓市内室町二ノ七吉川光子金九圓吉野町二ノ一二ノ一二食道樂浩洲、金十五圓三笠町圓の湯久保田源次郎、金五圓三笠町盛倉祥行荒木伸之の諸氏と先頃長春座で春季温習會を催した藤間舞踊の藤波會と長唄勢好會の名で金五十圓を寄託して來たが藤波會は藤間勘太郎、勢好會は柳屋七郎の兩師匠主宰する新京花柳界の連中が門下である、この寄託小計八十五圓、累計三千六百三十六圓十八錢となる

北鐵線十五日から 時間大改正

既報、北滿鐵路では十五日から南部、東部、西部三線とも列車時刻の改正を行ふその主要列車の改正時刻は次の通り

一、南部線
第三列車（午後三時二十五分新京發）第四列車（午前八時三十分新京發）は從來通り、變更なし、第十一列車ハルビン發午後九時五十分、新京着午前七時、第十二列車新京發午後九時四十五分、ハルビン着午前六時四十分（毎日運行）

一、西部線
第三列車ハルビン發午前八時三十分、チチハル着午後三時二分（日水金）滿洲里着午前七時十分（月木土）第四列車滿洲里發午後四時十分（日、火、木）チチハル着午前七時五十五分、ハルビン着午後四時三十分（月、水、金）第二十一列車ハルビン發午前八時三十分チチハル着午後六時十分（月、火、木、土）第二十二列車チチハル發午前八時五十分ハルビン着午後六時三十五分（日、火、木、土）

一、東部線
第四列車ハルビン發午前七時三十分一面坡着午後零時五十五分（毎日）一面坡發午後一時十分横道河子着午後三時十四分（日、火、木、金、土）横道河子發午後三時廿六分（火、木、土）綏芬河着午後四時四十五分（木、金、日）第三列車綏芬河發午前六時十五分（月、水、土）横道河子着午前八時二十分（月、水、木、日）横道河子發午前八時三十七分（火、木、土、日）一面坡着午前十時二十五分（月、火、木、土、日）一面坡發午前十時四十分ハルビン着午後四時五分

一、列車編成は從來通り
一、南部線夜間運行に伴ふ、

競乘は原則として滿洲國騎兵路軍でやる

稻門工友會 發會式擧行

在京早稻田大學附屬高等工學校及び工手學校卒業生約七十名は十四日午後六時半から大陸春で新京稻門工友會の發會式を擧ける、當日は早稻田出身の荒木地方事務所長、丁交通部大臣等も來賓で列席する

馬車人力車組合 座談會開催

首都乘用馬車人力車營業組合では來る十七日午後五時から官宴樓で組合員を初め、各關係者を招き一大座談會を開催することになつた

極東大會參加問題

体協から比島側へ 最後通牒打電

【東京國通】昨日午後山本代表より体協にフイリツピン宛通牒内容を訂正せよとの要求來り、且つ山本代表がフイリツピン宛通牒を一時保留したとの情報に接し体協幹部は昨日午後二時中央亭に幹部會を開催し、フイリツピンの不信は明かと山本代表宛フイリツピンへの通牒留保を解除する樣打電すると共に午後七時より引續き丸の内ホテルに緊急理事會を開催し、對策を協議し山本代表の指摘の點はフイリツピン宛通牒の主要點でないと解釋し、フイリツピン宛に左の通り電報を發した前夜の最後通牒を有效なりとして午前零時四十分散會した

△フイリツピン宛電文

山本代表より協會宛電報取消の電報ある由であるが、右は前電の主要部分に關するものと察せられる、本協會が滿洲國のメンバーシツプを要求せず單にパーテイシペイションを希望せるものにて、右は憲法に規定なきも、參加前例かあり、參加希望を申立てた場合これを丁重に考慮すべく無下に拒絶するを愼しむ樣此點につき協會の反省を要望す

日本側の別個の 提案を希望

憲法蹂躙には組せず 比島体協副會長新聞に發表

【マニラ十三日發國通】上海に於ける圓卓會議の決裂に關し比島体協副會長バルカス氏は十二日深更當地新聞に對し左の如きステートメントを發表し極力比島側の闡明をすると共に日本側の大會參加を希望した

日本側が更に何等か別個の提案をなすに就ては我々は喜んでこれに考慮を拂はんとするものである、我々は日本側がマニラに來つて豫定通り大會に參加せんことを希望して止まない次第である、偶々日本經由歸國の途にある上院議長ケソン氏は比島体育協會長をも兼ねて居るから同氏に打電し、比島側の立場につき日本体協に釋明して貰ふ積りで居る又日本体協からの通牒電に對しては今から直ちに比島体協執行委員會を開き更に十四日午前九時から再會して右に對する回答を協議するお積りである

次に上海の圓卓會議で比島側の採つた態度であるが、初めタン博士は上海へ向けて出發する頃には尙事情が明かならず、依て比島側は博士の出發に當り萬一滿洲國加入問題を投票する際は賛成投票をなすべく、但し二對一の多數決によつて決定する事は拒絶する樣訓令して置いた、何れにしても我々としては極東大會の憲法蹂躙に組する事は出來ない譯だ、尙大會競技は本問題の歸趨如何に拘らず豫定通り開催される事とならう

極東オリンピック 籠球史を語る（一）

▽一九一九年マニラの第四回大會には、未だに日本の籠球界がYMCAに閉ぢ籠つてゐた時なので、遙々海を越えてマニラ迄遠征し得る自信が無く時機して、國内の普及發達を計るべきだと言ふ事に決して、參加を見合せた、YMCAのブラウン氏の仕込みで京都に盛んであつた籠球も東京のYMCAの擡頭から競技の中心勢力も關東に移植され、各大學にもほつほつ此競技の愛好者が出初めたのである

▽越へて二年の一九二一年上海の第五回大會には在京YMCAの若手連七名をまとめて初めて船に乗つて上海に向つたのである、處が連年比島に連敗の憂目を見てゐた、支那が雪辱の意氣に燃へ陣容も前回マニラに遠征した古强者でかためて比島、日本を迎へた、案の如く物凄い粘りと強味を發揮して先づ比島と戰つたが比島も主將バウチスタを始めサングレ、ロブレス等の老巧の活躍で簡單には支那の跳梁を許さず最後迄シーソーゲームが續いたが勝ちたい氣持にこりかたまつた支那軍は遂には、極端なプレーの防害を行ひ、然かも米人の審判はこれを默視して比島軍が有利に移る動きには反則を科したので、流石の比島軍も僅かに三ポイントの差で支那に敗れた、このゲームを見た日本は大に憤慨して、全軍の士氣は頗る上り、打倒支那の闘志に沸つたさうしたが二日の戰ひは、日本の血の滲む樣な奮戰にもかかはらずこれ又三ポイントの少差で恨をのんで了つた、二日目の對比島戰は日本は簡單に大敗したので第五回は日本は最下位であつた

第六回大會は一九二三年再び日本に巡つて來て五月廿三日大阪市立運動場で擧行された當時は東京の立敎、早大が他校に先んじて籠球チームを組織し始めてゐたが極めてまた微々たるものでその實力も東京YMCAには優るべくもなかつた

前回の苦戰に懲りてこんどこそはホームコートを利して比支兩軍を擊破しようと我が代表は非常に意氣込んで居たのだが豫想は全く裏切られてしまつた五月二十二日の日本對支那の第一戰は支那軍の素晴らしい出來榮へで全く問題とならず

支那 32 20 | 2 14 日本

のスコアで無慘な大敗となつてしまつた二十三日には日本に大勝した支那が比島に

比島 27 14 | 5 9 支那

のスコアでこれまた大敗し比島の優勝は動かなくなつたが比島對日本の試合は日本が存外な善戰をして

比島 19 32 — 12 19 日本

のスコアまで喰ついて行つたが結局やはり最後尾から上る事は出來なかつた

學校教練協議 昨日で終了

關東廳主催學校教練協議會十三日午前九時から商業學校講堂で開かれた、出席者は西尾關東軍參謀長、田邊學務課長以下各學校長、配屬將校三十餘名で、田邊學務課長、西尾中將から挨拶あり、諮問、希望各事項の協議あり午後三時終了した、なほ菱刈長官は午後二時臨席して一場の訓示をなした、なほ協議事項は各學校持寄りで二十餘件に及んだが主なるものは次の樣なものである

一、諮問事項

學生々徒の個性を一層重視し學校教練の效果を大ならしめる方案如何

一、學校側提出議題

生徒制服制帽改正に就いて、關東州內中等學校以上並びに青年訓練所學生々徒の聯合野外演習の時期を決せられたし

一、軍に對する希望事項

兵器用革具類及び背囊などの軍隊における廢品拂下に際し相當價格で優先權を與へ拂下げる御配慮を乞ふ 學校教練のため拂下げる小銃の御紋章は今後消印を捺さずに渡されたい（理由、學生々徒の精神教育上必要なり）

一、關東廳に對する希望事項並に意見

軍の援助をうけ滿鐵と協同教練教師の講習會を開催する 教練實施に要する豫算を九名內外の一學級一年平均百圓として配當され度し 兵器修理に要する技術者を雇備せられ度 教練教師に關東州外中等學校の教練實施狀況を視察させその教育技能を向上せしめる手段をとり得る樣御配慮あり度しとのことであつた

靴を喰つて 進んで留置場入りを志願

新京永樂町二丁目八靴商市川多藏方店員安川耿消（二九）は昨年八月十日より同店に傭はれ本年一月頃からお得意さんの支拂金百六十餘圓を悉く自分のポケツトに入れて了ひ主人を欺してはだ下駄ならぬ醉をはいてゐたが、最近同人の擧動不審な點から罪狀がばれ狼狽した主人は直ちに警察へと思ひ立つたが當人の將來のため告訴を取止め種々諭した結果同人の費ひ込んだ金を返濟するといふ誓約書を書けと極めて情深い處置に出たところ

これは又何處まで面の皮の厚いかわからない安川は、「金を返す位なら突き出して呉れ、一ケ月か二ケ月位なら入つた方がましだ」とばかり全く人を喰つた話に主人市川もさうさう憤慨して了ひ十二日新京警察署に突き出した、安川は早速暗い留置場入りをさせられたが取調べに際しても極めて不遜な態度をとり流石の係官もその面の皮の厚さにはあきれ返つてゐる

居住消息

▲三井勘四郎氏（熊本縣）入船町二丁目十五番地ノ三へ
▲川原二郎氏（鹿兒島縣）吉林から朝日通り八十五番地へ
▲佐藤猛氏（山口縣）朝日通り八十五番地へ
▲大賀吉次郎氏（山口縣）
▲中村瀧夫氏（山口縣）同上
▲藤原豊三郎氏（秋田縣）中町二丁目滿鐵社宅第一號大へ
▲原田多穀氏（青森縣）四平から露月町二丁目十九號へ
▲野田計明氏（鹿兒島縣）敦から平安町二丁目一號ノへ
▲市來善夫氏（宮崎縣）三笠一丁目十二番地へ

轉居

▲中田與四太郎氏驛構內遞事務所から尾上町四丁目番地へ
▲西川駿氏六馬路十五號から三笠町四丁目七番地へ

忠靈塔寄附者名（卅）

新京日日新聞社取扱

▽十圓 室町吉田光子▽五圓 吉野町浩洲▽十一圓 三笠町圓の湯久保田源次郎▽五圓 三笠町盛倉祥行荒木伸之▽五十圓 藤波會と勢好會、小計八十五圓 累計三千六百三十六圓十八錢

新京驛踏切に於て殉職せられたる新京驛構内方故劉海山氏葬儀を來る十六日午後二時新京大同廣場護國般若寺に於て鐵道部葬を以て執行可致候

昭和九年四月十四日

新京鐵道事務所長

東滿探險記（五）

蒙古を偏日本東京間騎馬縱走旅行

公論社　井上亨

余行

鶴の住む岡　石炭の王國へ小旅行

教化以來朝鮮人の姿がチラツクのであつたが佳木斯は割合多い、牛圓に忠魂碑の丘が南西に回され、西方に守備隊兵舍の赤煉瓦が從えて居る、やがて旅團が駐屯するであらう此の街も今は邦人居留民會總數僅二百內外の淋しさである對岸は黑龍江省、其處に鶴岡に行く連江口站がある舊式の米國製「闘中に引づられて三時間住友か水田農地を過ぎらうさした事のある平原濕地、星野少佐奮死の地點を過ぐるさ、ナンダカンダ、こんな坂を幾つも息せき切つて十八里鶴岡炭山に着く、まばらな密林にも、小唄うごめくを見るも今は大した讃嘆もなく、二千五百の七も々採坑夫一千七百は警備隊滿洲人小役人が內譯にするもの中に同胞女性の老花二輪か交はり住み、露大堀りの炭鑛町を形成して居る北の小高い丘は此の町を見下ろし、赤い洋館の事務所、宿舍を載せて居る、此の赤い洋館の二棟に今年二十九才の北大出の青年森田太郎君がタツタ一人殘留員として監督をして居る、勇敢なる森田君は私しを快よく招じ入れて頻りに一泊を奬める、夕方迄に馬を並べて總埋藏量撫順の九億噸に次ぐ六億噸の此の露天堀槽を見に行く、第一槽から第五槽の炭層五十尺の幅員あり無煙ならずさも素晴らしき動力の原料地である、今年は採炭會社に合併され組織が變更される相である、今は採堀された石炭は松花江岸で國際に手渡しされて、販賣は其の手にのみ委任せられ直賣は出來ぬさ言ふ、坑夫賃銀冬期八十錢から一圓位、夏期日の永い時で一圓八十錢位を得るさの事牛敎でも內地の困窮者の働き場さして入れて貰ひ度いさ考へて見る、今年に採金調查隊が此の奧地まで十三里程入られるさうである、砂金を街に賣りに來る者がよく有るさの事であるが、相場は國幣の八圓位で物々が換もなすのだが

余り安くはない、廣い洋館の內には撞球あり、外にはテニスコートあり、モダン味は無盡の財源に依つて十二分に移され來つて居る、炭鑛職員宿舍の一室に森田君さ一夜を語り明かす、明けて其の日は牛日街に下り、二人の邦人女性を問し、泉湯に渡り垢を落す、淋しい山奧に可弱い女性の身で、雜貨商を營み國さ共に歩まんさ土民の中の貧民に施藥を行つて居る有様は感激せしめらる事柄である、同胞青年よ男性よ其の女性は徒手空拳で此の働きをして居るのですぞ、道に會ふ土地の子等は日本人の私しに對して「コンニチハ」さ皆挨拶するこれは此の不世出の憂國の女性の賜である、廣島縣人松岡不二子女史、香川縣人澁谷チル子女史の兩二方である、尙日本人を母さし、鮮人を父に持つ孤兒れい子さん（十一）を引取つて御世話されて居る派出な理想論で地味な實行力の無い人々の反省を求め度くなる

滿洲產業資源別調査資料　近く發刊

新京の滿洲事情案內所では滿洲の產業を資源別にした册子を發行するためかねて資料の蒐集中であつたがいよいよこれが蒐集を終つて目下印刷に廻付されてゐるので五月下旬には發行の運びに至るものさみられてゐる、尙從前同所が發行した國都新京事情も新京事情さ改題內容も新しいものを加へ本年月末發刊することさなつた

新舊地方係長挨拶

（四平街支局發）新任四平街地方事務所地方係長岸水寛三郎氏は前任者たる鯉沼新京地方係長さ共に十二日市內重なる向を訪ね交々離就任挨拶したが、鯉沼前係長は十六日午前十時五十八分發第十七列車にて離四赴京する筈

四平街

滿鐵施療擴張

（四平街支局發）從來滿鐵に於ける施療事業は衞生課所管に屬し滿鐵醫院にて取扱はれてゐたが昭和九年度から地方課に移管され地方事務所で取扱はれてゐるが未だに施療患者一名なので之れを一般に普及徹底せしむべく社會課では考究中であるが條件は左の通りである

一、被施療者は四平地地方事務所管內の居住者にして貧困の爲醫療費を負擔し得ざる者さす

二、施療を受けんさするものは施療申請書に警察署長區長、地方事務所派出所主任中間驛長の施療必要事由記入並記名捺印を受け之を地方事務所長に提出すべし

三、施療申請書に依る施療宜宜は社會係事之を行ふ社會主事施療を必要さ認むるさきは之れに施療券を附與す

四、施療券を附與したるものに對しては醫療に要する一切の費用（附添料及入院患者輸送費を含む）を地方課に於て支辨す

但し被施療者の家庭の事情其の他を考慮し醫療費の一部を補助することを得

五、本施療券に依る醫療は當該地會社醫院に於て之を行ふ

但し已むを得ざる事情あるさきは其の他の醫院に施療を委囑することを得

六、施療費は一人一件最高額百圓さす

客車收入減少

（四平街支局發）昭和八年度中に於ける四平街驛客車收入は昨年度に比し社線に於て增四洮線に於て減少を示して居るが內譯をあげるさ

◎社線 乘車人員	昭和七年度	三三、六六八
降車人員		一八八、六二五
乘車賃金		二八二、一〇、〇四
◎四洮線 乘車人員		二〇一、三七八
降車人員		二三六、〇九八
乘車賃金		三二一、八五、九三
手小荷物		
◎社線 手荷物發送箇數		二七、四二五
同到着箇數		二六、五九五
小荷物發送個數		一五、九九二
同到着個數		三六、七〇六
運賃		二一、〇六一、七七
◎四洮線手小荷物運賃		九九、七七五、二八
昭和八年度		
◎社線 乘車人員		二三五、八五九
降車人員		二四六、四五一
乘車賃金		四三三、〇四四、八五
◎四洮線 乘車人員		一四七、一七三
降車人員		一三三、二九九
乘車賃金		四六一、六六五、二八
◎社線 手荷物 發送個數		二四、三六
同 到着個數		三〇、六二〇
小荷物發送個數		一五、七〇四
同 到着個數		三〇、八九
運賃		二〇、二四四、三五
◎四洮線手荷物運賃		八五、七九〇、九

八年度中の發着貨物

（四平街支局發）四平街驛八年度中の發着貨物取扱數量は二百二十萬二千二百二十キロトン收入額は七百一十萬三千九百三十四圓で前年度に比し二十四萬二千九百二十九キロトンの增、收入に於て二百八十萬四千九圓の激減さ云ふ奇蹟的現象を示してゐるが物通過貨の多かつた爲めであるさ尙ほ內譯は次の通りである

		前年度
滿鐵本線		
發送	六〇、〇六八	三三三、六〇七
到着	六九、六六六	三三六、〇九九
連絡線發社入	四六六、六六五	七〇四、六〇〇
社發連絡線入	六〇三、二六四	四〇四、九六一
合計	一、六七九、〇四一	一、六六八、三三七
四洮線		
發送	四三六、二七〇	一三四、七〇四

海の外から

印度の公敎會

信徒の獲得に猛進

印度に於ける公敎會は最近著しく組織的進歩を開始、三億五千萬の全印度人中、目下の信徒は三百七十五萬人に過ぎないが、近く司教卅九人、大司教十一人を置きの五百萬信徒獲得を目指して猛進することさなつた

毎日お祭りをする

飛行家の慰靈堂

佛國政府は巴里の犧牲さなつた飛行家の慰靈堂を建設回向者を專屬せしめ毎日祭式を擧行することさなり近く起工の運びさなつた

映畫製作數

世界一の日本

英國の映畫界では昨年中世界各國の製作したフヰルムの數を精査中であつたが此の程次記結果を發表した日本七五〇種、米國五一〇種、英國一九〇種、獨乙一四五種、フランス一四〇種、印度七六種支那六〇種であつた

沈沒潛水艦が

自力で浮上る實驗

佛國の或る機械技師は潛水艦が沈沒した際、自力で浮上ることの出來る裝置を發明中の所雛形だけ出來たので實驗の結果は好成績を收めた、即ち鋼鐵函を造つて其の中に入つて海底に沈んだ後再び浮き上つたさいふ

ラジオ欄

十四日（土曜日）新京

自午前一一時二〇分 運動競技（東京より）
至午後 五時〇分 極東オリムピック派遣チーム詮衡野球試合 ー神宮球場より中繼ー（但々の定期放送時間には中斷す）

午前一一時四〇分 ニュース（日滿兩語）
同 一一時五九分 時報
午後 〇時 五分 經濟市況（奉天より日滿兩語）
同 一時 〇分 演藝（滿語）
同 三時 二〇分 ニュース（日滿兩語）
前年度 三時 三〇分 經濟市況（日）
同 五時 〇分 子供の時間（レコード）
同 五時 三〇分 ニュース（英語）
同 五時 四〇分 ニュース（鮮語）
同 五時 五〇分 ニュース（滿語）
同 六時 〇分 ニュース（東京より）
同 六時 二〇分 語學講座（日語）講師 高宮盛逸
同 六時 四〇分 同 語學講座（滿語）
同 七時 〇分 管絃樂三重奏（大阪より）モギレフスキー、トリオ
同 七時三〇分 俚謠（京都より）京都府竹野郡彌榮村ー
一、新濱節　唄 隅野榮治、尺八 山副泉山
　　よやし　唄 近藤米三郎、尺八 山副九兵衞
二、高臺寺節　唄 近藤泉山
三、田植唄　三味線 近藤米三郎、唄 隅野榮治
同 七時 五〇分 唄 本朝孝子、浄瑠璃 花節（第一席）早川辰燕
同 八時 三〇分 時報 ニュース（東京より）
同 八時 四五分 氣象予報プログラム予告 ニュース
同 九時 〇分 演藝（滿語）双玉班 滿堂

ラヂオの御用は東京無線（電四九一〇番）へ

引續 ニュース氣象豫報プログラム豫告（滿語）

◎十四日午後七時〇分管絃樂三重奏 曲目並出演者左の如く決定

モギレフスキー、トリオ
セレナーに、長調作品八番ベートーヴエン作曲
ヴァイオリン アレキサンダー・モギレフスキー、ヴィオラ ワクモント、メンチンスキー、チエロ、ワフシリイブ
第一樂章 マルチア、アレグロ
同二 アダチオ
同三 メヌエツトアレグレツト
同四 アダヂオ、スケルツオ アレグロ、モルト
同五 アレグレツトアラポラツカ
同大 アンダンテカアタアレグレツト（マルチアアレグロ）

◎七時三〇分俚謠左の如く追加す

彌榮音頭 音頭 山副九兵衞
三味線 近藤米三郎
太鼓はやし 隅野榮治

鮮魚小賣相場

氷	六〇	チヌ鯛	三四
連子鯛	三五	甘鯛	二六
鮹	九〇	小ブリ	四八
ヒラス	四七	サハラ	六八
サバ	二九	カレイ	一七
ヒラメ	二三	ボラ	三九
コノシロ	二六	キス	二五
ニシン	二二	マナカツヲ	七二
赤貝	一六	オコゼ	二〇
ムツ	二五	サヨリ	八五
タコ	二三	イヒダコ	一八
甲イカ	四〇	水イカ	五五
イセエビ	九〇	車エビ	三五
カニ	四二	アナゴ	二〇
貝柱	二〇	シラオ	三五
ナマコ	二〇	アワビ	七〇
カキ	二五	ハマグリ	一七
アサリ	五	カマボコ	四八
黑貝	四	星カレイ	二六
タナゴ	二〇	マス	三一
オイカワ	四〇		

新刊紹介

新刊 幼年倶樂部 五月號

雜誌

▲幼年倶樂部五月號は、四月上旬に出るから、入學進級の小さいお子様達には、至極結構な紀念品にもなる、

▲五月、こいふので、日本海大海戰に因むだ特輯を出してゐるが筆者は久保、岡田啓、山本泉各大將、鳥巢

佐藤鐵中將さいふ、當時の模樣を語るには、何れも無比の適任者ばかりであり、殊にかうした顏觸を、一見雜誌に集め得たさいふのは、何さいつてもこの雜誌の信用を裏書するもので、內容の良さもこれで充分想像し得るのである、

▲附錄の「電話、出世カード並びにカード立」も小さい子供にふさはしい單純さ、珍らしさに大に好感を覺える、

▲百萬以上の大數量をどれも屑かなく、みんな一樣に揃ひのカード立なりの玩具を樂しませるさいふだけでも、相當敬意を表したくなるが、本誌にしろ、附錄にしろ、一面また學校敎育さ緊密な聯絡を心掛けて、假名遣ひから、使用文字の難易色彩さいつた、形式上にも周到な注意を拂はれてゐるのは何さしても有難いことだ

▲一册四十錢さいふが、お菓子を買つても四五十錢はすぐに飛ぶことさ思へば、毎月一册、かうした完璧した雜誌を與へておくのが、寧ろ經濟的ではあるまいか

△大地　聲望（三號）東亞の日本の改題したもの一部金二十錢東京市四谷箪笥町東亞の日本社

△東京卸問屋聯合月報（第九卷四月號）大東京の有力著名問屋百余名の聯合月報で、商品目玩具樂器運動具、洋裝雜貨帽子、メリヤス、靴下、煙草具、袋物、小間物、眼鏡、糸物、手藝材料、織物、雨傘、文房具、靴、カバン、ゴム雜貨、洋服雜紗、陳列器具金物雜貨、防水布、下駄草履類等百貨に亘り、東京商品の仕入に無二の伴侶である、（申込者に無代贈呈）東京市神田區永富町東京實業商報社發行

△本場のハナ（五十五號）春季特裁品目錄新潟縣中蒲原郡小合村曾尾草生園

新しい店頭用廣告器具

取付工事のいらぬ

チヨダネオン

チオンサインに取付工事が全くいらぬのが考案された、今迄チオンサインは大都市ではは相當發達し又利用されてゐたが大都市を離れるさまだまだチオン時代には遙に遠い感がする、其の主たる原因は取付工事が面倒であり手數さ時間さを要し從つて値段も可成高いから一般向きまで行かぬのも無理がないが今回千代田商工株式會社に於て取付工事が絕對にいらぬ特許高壓式チヨダチオン標準看板が考案製作された、之は數十種の職業別に依る店販用晝夜兼用に作られたもので光力は頗る强く巾は大體一尺六寸、長さ三尺位の簡易に作られた既製品で一般中小商工業者から珍重歡迎され實行が良い考案の動機は先般社長に就任した川口喜十郎氏がチオンは魅惑的で透視力が强く且つ電力消費量が極めて少いから廣告用さして何さか一般に普及したいさ云ふ見地から計畫實施したもので價格も市場の半額以下さ絹されてゐる、因に該社は今回新社長の下に資本金を數倍に增加して設備さ營業の改良擴充を計り信用第一の營業方針にて前記標準看板の外如何んな小チオンでも又如何なる大廣飾じも遠近を問はず迅速低廉に扱ふ方針なりさし、內地は勿論朝鮮、滿洲、南北支部に亘つて代理店特約店を募集し斷路の擴張に努力してゐる（出社營業所東京市本郷區本郷二丁目千代田商工株式會社）

就職案內

巡査志願　內地海外植民地 大募集
▽非常時青年に與へられた就職成功の王道！巡査志願者は本會に來れ！安い會費と短期間の受驗準備で必ず試驗に合格する！內地及各植民地を始め目下續々と大募集中ハガキで申込めば案內書及合圖試驗日割表無代で急送す。
東京巣鴨町二ノ三十五　日本警務學會

鐵道員就職
國有鐵道大募集計劃發表さる鐵道員を志願する諸君はハガキで申込次第くわしい說明書及立身案內を無代進呈す。
東京巣鴨町二ノ三十五　東洋鐵道學會

速成 算術上達
どんな初歩の人でも本會に入會すれば算術が短期で上達する申込次第案內書無代急送す。
東京巣鴨町二ノ三十五　帝國算術教育會

陸海軍人志願
陸海軍少年航空兵及び陸軍工科學校、幼年學校、電信兵、其他陸海軍諸學校等の入學試驗に合格すれば一切官費で將來は立派な陸海軍將校及び飛行將校となることが出來る。志願者諸君は合格第一主義の本會に入會して受驗必勝を期せ、ハガキで申込次第くはしい志願案內送料代金送す。
東京巣鴨二ノ三五　大日本國防協會

新柄フトン

◀供提格破▶

擴張賣出し

▲銘仙フトン、座布團類
▲ナフトル地布團 其他
▲上等ソバカス入枕
▲春夏向新柄フトン種々

フトン類の御用命は!!

玉屋布團店

御米は……品質本位の㐄印
醬油は……日本一の㊎マルキン醬油
木炭は……枝小丸 朝鮮產 檢查濟 一等品 屑物なし

▲遠近多少に不拘 配達迅速▼

㐄印白米各種
㊎マルキン醬油
木炭各種

卸小賣

上等多少共御下命御試用の上精々御引立の程願申します

新京祝町五丁目十四番地

千葉商店精米部

電話二四二一番

賣 シボレートラック
機能完全毎日午後試運轉應格安至急賣却し度電話御斷り
富士町三ノ三朝タクシー 藤

日本の聖女（ニッポンのマリヤ）

（新京上演上映）

生田葵

南部龍平畫

八五

伏見街道

裏の捕物（一〇）

「あ、いたゝゝゝ、えゝ申上げます〳〵」

憐みを乞ふやうに云つて、其の手先は素直に自分が知つて居ることだけを申立てた。

先刻役所へと百目の傘屋觀之助といふ男が、この家を切支丹の道場であることを訴人して來た折柄、岸田守衛殿が市中見廻りの序に立寄つて耳に入れ、それならば近頃の大捕物となるに相違ない、加勢の人數が必要だとあつて六角の役所へ使が立ち、やがて此處へは大人數の捕手が向ふであらうと、總てはお春の想像が當つたわけである。

「よし、其方を赦してやつてもよいが、邪魔を働くやうなことをしないとも限らないから、今しばらくそのまゝで辛抱せい」

さう云つて、觀之丞は、其の男を縛つた、縄の一端を柱へ、緊いだ。

與子が歸つても觀之丞はお春の後を追はうとはしなかつた。

捕手の來るまで、踏止まつて、一泡吹かしてやらうとの念願であつた。

申はずして勝つと云ふ平生の觀之丞の鬱怯からすれば、其の夕の觀之丞の心地は少し激情に過ぎて居たのは勿論であつた。

しかし彼にはその心地を何うすることも出來なかつた。お高かしばられたと云ふ悲憤がそんなにしたのは勿論であつた。

寧に之でしつぽをまいて行方をくらまして了つたと役人側に思はすのが、寧ろ腹立であつた。

「信念に基いた自分達は、胸くそも幽懸に拘せずに、佐郷を踏み越えて致風を敷布して行く力を持つて居る」

居た。

それに、此處でとり手を食ひ止めて居ることは、裏道を落ちて行く、お春達に時間の餘裕を與へることになりもすると、思ひもして居た。

誰も居ないガランとした空家同然の家の緣側に腰を降ろして、觀之丞は其處の柱にしばり附けてある乞食姿に變裝して手先の姿をみまもりながら、稍しばらく退屈な時間を過ごした。

あたりには、いつの間にか、たそがれの氣配が這ひ寄つて來てゐた。

もう大分時刻もたつて、落延びたお春も遠退いたであらうから、いつそ寄せて來るとり手などにかゝり合つて居ずに自分も此家を見捨てゝ了はうかしらとの思ひが胸いて來た時、不岡家の土塀外で或る物音がしたのを聞のがしはしなかつた。

彼は家の表門も裏門も捕手の出入口も容易に侵入して來られぬやうにしつかりと閉ざして置いたのである。

「來たな」

緊合のある心地になつて、緣側を離れ、庭の前に築かれてある土塀にと寄つて行き、轉がつてある石を踏み臺にして大膽にも首を突き出して外を窺つた、稍小高い場所にある此家をめぐつて附いてゐる小徑の上に、五六の人影が這ふやうに此方へと近寄つて來るのが見られた。

各自共に、草鞋で足を固め、手に〳〵十手を握つてゐた。

「あはゝゝゝゝゝ」

突然觀之丞は大膽を張げて笑つた。

と思ふと、歯に隱し持つた短銃を取出し、群の上へとすえると鼠く、銃口を近寄つて來たとり手へと向けて、ひき金を引いた。

△

A8-23